

環境エネルギー一部

環境・地域エネルギー課

課長 鈴木 博史

事務事業評価票

部局名 環境エネルギー部 課名 環境・地域エネルギー課

事務事業名	環境基本計画進行管理
-------	------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	一般事務費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

環境基本計画の実施状況を調査・審議する有識者等による審議会を開催するとともに、進行管理を行うもの

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

- 環境審議会
環境基本条例のもと、環境審議会において計画の実施状況を調査・審議(令和3年度は、4回開催)
- 環境基本計画の進行管理
第3次松本市環境基本計画の最終年度である令和2年度の実績について、各部局が実施する事業の進行管理を行い、第4次環境基本計画に反映
- 第4次環境基本計画の策定
第3次環境基本計画の計画期間終了に伴い、経済・社会とつなぐ まつもと環境戦略(第4次環境基本計画)を、令和3年8月に策定計画冊子200冊を印刷し、関係機関等に配布

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
第4次松本市環境基本計画は、環境の保全等に関する総合的かつ長期的な目標、施策の大綱及び環境への配慮の指針を定め、第11次基本計画の環境面での表現を支えるものであることから、継続して進行管理を行い、計画を推進する。		

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

基本施策名	4-3	自然・生活環境の保全
5つの重点戦略	ゼロカーボン戦略	
予算要求区分	経常経費	

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

市長公約	公約	4 防災・SDGs
主な取組み	○ 二酸化炭素排出の削減、強靱なまちづくり	

<指標の達成状況>

区分	総合評価		A		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	環境基本計画の指標のうち、目標の70%以上を達成している項目数				
指標の設定理由	環境基本計画の進捗状況を示すため(第4次計画では、総指標数61から32へ減)				
目標値	48	26	26	26	26
実績値	50				
達成度	104.2%				
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	1,205				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	1,205				
② 人件費(千円)	6,072	人工			
正規	6,072	0.8			
会計年度任用(Ⅱ-1741、Ⅱ-1741(1)-2類)	0				
会計年度任用(Ⅱ-1741(3)-4類)	0				
合計コスト①+②	7,277				

事務事業評価票

部局名 環境エネルギー部 課名 環境・地域エネルギー課

事務事業名	清掃業務管理費(松塩地区広域施設組合負担金)
-------	------------------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	清掃業務管理費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

一般廃棄物処理施設の維持管理及び廃棄物の適正処理を行うため、松塩地区広域施設組合に分担金を支出するもの

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

- 実施内容
松本クリーンセンター、あずさセンター、余熱利用施設(ラーラ松本)等の管理・運営業務料として、負担金を支出している。
新焼却炉の令和11年度供用開始を目指し、令和3年度は、新ごみ処理施設基本構想を策定した。
- 令和3年度実績
 - 松本クリーンセンターごみ搬入量(松本市分、可燃ごみのみ)
75,076.87 トン
 - あずさセンターし尿等投入量(松本市分)
8,249.7 キロリットル
 - ラーラ松本利用者数
300,170 人
 - 負担金
1,194,497,949 円
(内訳)建設費(積立金) 227,561,000 円
建設費(償還金) 248,631,949 円
新施設建設費 32,078,000 円
管理運営費 686,227,000 円

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
・松塩地区広域施設組合は、一般廃棄物処理施設の維持管理及び廃棄物の適正処理並びに新ごみ処理施設建設に係る事務を行っており、広域的な廃棄物処理による効率的な運営が行われていると認識している。 ・ごみの減量化及び生活排水の適正な管理を行うため、ごみ展開検査の実施、ごみ持込み時の排出元市村の確認等、引続き組合と連携して施策を実施していく。		

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

基本施策名	4-2	3R徹底による環境負荷軽減	市長公約	公約	4 防災・SDGs
5つの重点戦略	—		市長公約	主な取組み	○ 二酸化炭素排出の削減、強靱なまちづくり
予算要求区分	経常経費				

<指標の達成状況>

総合評価

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	1,194,510				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	1,194,510				
② 人件費(千円)	759	人工			
正規	759	0.1			
会計年度任用(ワカ16、ワカ17(1・2類))	0				
会計年度任用(ワカ17(3・4類))	0				
合計コスト①+②	1,195,269				

事務事業評価票

部局名 環境エネルギー部 課名 環境・地域エネルギー課

事務事業名	ごみ減量対策事業(一般廃棄物処理計画進行管理)
-------	-------------------------

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

基本施策名	4-2	3R徹底による環境負荷軽減	市長公約	公約	4 防災・SDGs
5つの重点戦略	ゼロカーボン戦略		市長公約	主な取組み	○ 二酸化炭素排出の削減、強靱なまちづくり
予算要求区分	政策的経費				

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	ごみ減量対策事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H20~

廃棄物の適正な処理の促進及びごみ排出量の計画目標を達成するため、一般廃棄物処理計画の進行管理を行い、また、一般廃棄物処理実施計画を策定して、ごみ減量化施策を推進するもの

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

1 実施内容

- 一般廃棄物処理計画(2018~2027年度版)の進行管理
松本市一般廃棄物処理計画を推進するため、各年度のごみ排出量を公表し、また、実施する事業の進行管理を行い、施策に反映する。
- 一般廃棄物処理実施計画策定
廃棄物の処理及び清掃に関する法律等に基づき、毎年度、実情に応じた一般廃棄物の処理に関する事項を定める実施計画を策定する。

2 R3年度実績

- 総ごみ量
85,549(t/年)(目標値:82,892(t/年)、目標比103.20%)
- 1人1日当たりのごみ排出量
988(g/1人1日)(目標値:964(g/1人1日)、目標比:102.48%)

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
引き続き、一般廃棄物処理計画に基づいて、ごみの減量及び適正処理を推進する。 R4年度で計画期間の半分が経過することから、R5年度に計画の中間改定を行い、目標達成に向けた取組みの見直し等を行う。		

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	1人1日当たりのごみ排出量(単位:g/日)				
指標の設定理由	本事務事業の目的であるごみ減量の一般的な指標であるため				
目標値	964	948	932	916	900
実績値	988				
達成度	97.6%				
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	0				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源					
② 人件費(千円)	759	人工			
正規	759	0.1			
会計年度任用 (I・II・III・IV・V・VI・VII・VIII・IX・X・XI・XII類)	0				
会計年度任用 (I・II・III・IV・V・VI・VII・VIII・IX・X・XI・XII類)	0				
合計コスト①+②	759				

事務事業評価票

部局名 環境エネルギー部 課名 環境・地域エネルギー課

事務事業名	環境基本計画推進事業 (食品ロス削減事業)
-------	--------------------------

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

基本施策名	4-2	3R徹底による環境負荷軽減	市長公約	公約	4 防災・SDGs
5つの重点戦略	ゼロカーボン戦略		市長公約	主な取組み	○ 二酸化炭素排出の削減、強靱なまちづくり
予算要求区分	経常経費				

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	環境基本計画推進事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H27~

環境基本計画に定める持続可能な循環型社会の構築を目指して、廃棄物の発生抑制などを推進するため、食品ロス削減を推進するもの

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

- あらゆる世代で「もったいない」を心がけた食品ロスを減らす取り組みを進めるため、残さず食べよう！30・10運動をはじめとする食品ロス削減の取り組みを広報まつもとやSNS等で周知啓発
- 食品ロス削減推進計画進行管理
- 残さず食べよう！推進店・事業所認定制度
令和3年度末認定数 推進店256店、109業所 計365
- 余剰食品の活用
(1) フードドライブ 開催回数12回、寄贈食品量 5532.6kg
(2) フレッシュフードシェア 開催回数23回、寄贈食品量 2156.6kg
- 食品小売店と連携したもったいないクッキングの推進、値引き商品購入促進
- まつもとフードシェアマーケット
事業系食品ロス削減に向けて、フードシェアリングサービスを推進
(1) KURADASHI 令和3年7月13日に食品ロス削減に向けた連携協定を締結
令和3年度末協賛事業者 2事業者 会員 1036人
(2) タバスケ 令和4年2月17日供用開始
令和3年度末協力店 26店舗 県内ユーザー 2,553人

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
・令和2年度末に策定した松本市食品ロス削減推進計画の削減目標達成に向け、周知啓発にとどまらない実践的な取組みが必要 ・民間プラットフォームの活用や、事業者との協力により、一歩踏み込んだ食品ロス削減の取組みを進める。		

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	残さず食べよう！推進店・事業所登録数				
指標の設定理由	食品ロス削減の取組みの市民への広がりを目指す指標であるため				
目標値	319	337	353	367	380
実績値	363				
達成度	113.8%				
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	2,280				
国・県	149				
利用者負担金					
その他					
一般財源	2,131				
② 人件費(千円)	6,676	人工			
正規	6,072	0.8			
会計年度任用 (7月1日、10月1日、12月1日)	604	0.2			
会計年度任用 (1月1日、4月1日、7月1日)	0				
合計コスト①+②	8,956				

事務事業評価票

部局名 環境エネルギー部 課名 環境・地域エネルギー課

事務事業名	環境基本計画推進事業(ecoオフィスまつもと認定事業)
-------	-----------------------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	環境基本計画推進事業費

<事業の狙い>

事業計画年度 H27~

環境基本計画に定める持続可能な循環型社会の構築を目指して、環境に配慮した取組みを行っている事業所をecoオフィスまつもと認定事業所として認定することにより、その取組みを推進するもの

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

- 実施内容
 - 松本市環境基本計画において事業者に望まれる取組みを推進するため、環境に配慮した取組みを実施する事業所を申請内容に応じて評価し、一つ星から三つ星ランクのecoオフィスまつもと認定事業所として認定するもの
 - 認定期間は2年間で、都度更新手続きを実施。また認定の1年後には環境報告書の提出を求め、HPIに公表
 - 事業周知のために、チラシ配布、ラジオ放送、労政まつもとへの掲載等を実施
 - 三つ星ランクを2期継続した事業所を優秀事業所とし、年度毎に表彰式を開催
- 実績
 - 認定事業所数(R4.2未現在)
 - 一つ星ランク…9事業所
 - 二つ星ランク…8事業所
 - 三つ星ランク…12事業所
 - 優秀事業所表彰
 - H30…2事業所((株)村瀬組、松本土建(株))
 - R元…2事業所(鍋林建工(株)、川窪建設(株))
 - R2…3事業所(三協電気工業(株)、ハシパテクノス(株)、サウンド建設(株))
 - R3…2事業所((株)小石興業、(株)アスピア)

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
・R3年度に環境基本計画を改定したことを踏まえ、取組内容の見直しが必要 ・事業者にとっての最大のメリットが入札時の総合評価における加点であることから、認定事業者が建設関係に偏っており、参加事業者数も十分でない。 ・ISO14001やエコアクション21への登録が難しい中小企業が気軽に取り組むことのできる認証制度としての意義はあると認識しているため、R6.4のリニューアルに向け、検討する。		

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

基本施策名	4-2	3R徹底による環境負荷軽減
5つの重点戦略	ゼロカーボン戦略	
予算要求区分	経常経費	

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

市長公約	公約	4 防災・SDGs
主な取組み	○ 二酸化炭素排出の削減、強靱なまちづくり	

<指標の達成状況>

区分	総合評価		B		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	ecoオフィスまつもと新規認定事業所数				
指標の設定理由	環境に配慮した取組みを行っている事業所を示す指標の1つであるため				
目標値	5	5	5	5	5
実績値	3				
達成度	60.0%				
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	30				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	30				
② 人件費(千円)	1,363	人工			
正規	759	0.1			
会計年度任用(7月1日、10月1日、12月1日)	604	0.2			
会計年度任用(10月1日、12月1日)	0				
合計コスト①+②	1,393				

事務事業評価票

部局名 環境エネルギー部 課名 環境・地域エネルギー課

事務事業名	環境基本計画推進事業(環境教育)
-------	------------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	環境基本計画推進事業

<事業の狙い>

事業計画年度

～

市民の環境保全意識を高めるため、地域の環境資源を活用した自然観察会や学習会、小中学校での環境学習、園児や小学生を対象とした参加型環境教育などを実施し、環境マインドの醸成を図るもの

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

- 参加型環境教育事業
園児と小学校3年生を対象に、ごみの分別や食べ残しをテーマにクイズ等のやりとりを交えた参加型環境教育を実施
(実施数:保育園・幼稚園等62園、小学校29校)
- エコスクール事業
自然体験や環境保全をテーマとした環境学習講座を幅広い世代を対象に実施(講座開催数12回、参加人数 延べ153人)
※新型コロナウイルス感染症対策として参加人数規模を縮小して開催したが、ほぼ全ての講座で募集人員を超える申込みがあり、市民のニーズは高い。
- 小中学校環境教育支援事業
環境分野の専門性を持つ企業・団体等が講師となる「環境学習プログラム」を小中学校に紹介し、学校での環境教育を支援した。
(実施校数 15校、実施回数 43事業、参加人数 延べ2,544人)

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
<p>・参加型環境教育事業は、子どもの意識変化だけでなく、家庭への波及効果も確認されている。実施園や小学校の意見も取り入れて、プログラム等を精査し、継続して実施する。</p> <p>・エコスクールや小中学校環境教育支援事業は、豊かな自然環境や「体験」を通じた新たな発見の機会を提供することで、幼少期からの環境マインドの醸成を目的としている。市民の環境配慮行動のきっかけにつながるものであるため、今後も継続して実施する。</p>		

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

基本施策名	4-2	3R徹底による環境負荷軽減	市長公約	公約	4 防災・SDGs
5つの重点戦略	ゼロカーボン戦略		市長公約	主な取組み	○ 二酸化炭素排出の削減、強靱なまちづくり
予算要求区分	経常経費				

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	園児を対象とした参加型環境教育の園児の意識変化の割合				
指標の設定理由	本事業は、環境意識向上に向けた取組みであるため				
目標値	65	65	65	65	65
実績値	57.1				
達成度	87.8%				
② 成果指標(指標名)	環境に係る学習機会の提供数(エコスクール+小中学校環境教育支援事業)				
指標の設定理由	市民の環境マインドを高めるためには継続的な学習機会を提供することが必要のため				
目標値	55	55	55	55	55
実績値	55				
達成度	100.0%				

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	1,050				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	1,050				
② 人件費(千円)	10,463	人工			
正規	8,349	1.1			
会計年度任用(Ⅱ-1/Ⅱ-1/Ⅱ-2類)	2114	0.7			
会計年度任用(Ⅱ-1/Ⅱ-1/Ⅱ-3-4類)	0				
合計コスト①+②	11,513				

事務事業評価票

部局名 環境エネルギー部 課名 環境・地域エネルギー課

事務事業名	環境基本計画推進事業 (プラスチックごみ削減事業)
-------	------------------------------

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

基本施策名	4-2	3R徹底による環境負荷軽減	市長公約	公約	4 防災・SDGs
5つの重点戦略		ゼロカーボン戦略	市長公約	主な取組み	○ 二酸化炭素排出の削減、強靱なまちづくり
予算要求区分		経常経費			

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	環境基本計画推進事業費

<事業の狙い>

事業計画年度 R3

ごみの減量及びゼロカーボン実現に向けて、使い捨てプラスチックを中心としたプラスチックごみの削減を推進するもの

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

- 実施内容
 - ・使い捨てプラスチックごみの削減に向けた周知啓発
 - ・マイボトル利用促進の取組み
- 活動実績
 - ・信州大学アクアスポットプロジェクトとの連携により、誰でも無料で給水することができるアクアスポットSWEEを市内7か所(うち2か所は信州大学構内)に設置
 - ・地域資源である豊富な美味しい水を活かし、マイボトルを利用しやすい環境を整備することで、ペットボトル使用量を削減するとともに、市民の環境にやさしいライフスタイルへの転換を促進

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	拡充
・ごみ量及びプラスチックごみの組成量は依然として多く、削減の余地は天いにある。また、ゼロカーボン実現に向けても、取組みの強化が必要である。 ・令和4年4月のプラ資源循環促進法施行を契機とし、より幅広い場面での使い捨てプラスチック等の削減につながる施策を検討する。		

<指標の達成状況>

区分	総合評価		A				
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
① 成果指標(指標名)	アクアスポットswee設置箇所数(累計)						
指標の設定理由	マイボトル利用促進事業の進捗度合いを反映する活動指標であるため。						
目標値	5	10	15	15	15		
実績値	5						
達成度	100.0%						
② 成果指標(指標名)							
指標の設定理由							
目標値							
実績値							
達成度							

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	0				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源					
② 人件費(千円)	5,313	人工			
正規	5,313	0.7			
会計年度任用(ワカ16、ワカ17(1・2類))	0				
会計年度任用(ワカ17(3・4類))	0				
合計コスト①+②	5,313				

事務事業評価票

部局名環境エネルギー部 課名 環境・地域エネルギー課

事務事業名	災害廃棄物処理計画の点検、管理
-------	-----------------

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

基本施策名	5-10	防災・減災対策の推進	市長公約	公約	4 防災・SDGs
5つの重点戦略		ゼロカーボン戦略	市長公約	主な取組み	○ 二酸化炭素排出の削減、強靱なまちづくり
予算要求区分		経常経費			

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	

<事業の狙い>

事業計画年度

H29~

大規模地震や水害等で発生する災害廃棄物を迅速かつ適正に処理することを目的に、平成30年度に策定した災害廃棄物処理計画について、より実効性の高い計画とするため、随時点検、見直しを行うとともに、災害廃棄物の適正処理に関する周知啓発を行う。

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

- 平成29年度~平成30年度
 - 環境省中部地方環境事務所の「平成29年度中部ブロックにおける災害廃棄物処理計画作成モデル事業」により、災害廃棄物処理計画を策定する上での基礎調査を実施
 - 基礎調査の結果を基に、平成31年2月に松本市災害廃棄物処理計画を策定
- 令和元年度
 - 災害時のごみ処理について記載した市民向けハンドブックを全戸配布
 - 環境衛生協議会、防災部長等に対し研修を行い周知・啓発を実施
 - 非常時優先業務マニュアルの中の災害廃棄物対策マニュアルを災害廃棄物処理計画の内容に沿って修正
- 令和2年度
 - 市が設置する仮置場候補地の庁内調整
 - 市民が設置する市民仮置場候補地の選定について、町会連合会理事会を通じて各町会へ検討を依頼
 - 初動段階における災害廃棄物仮置場の設置運営に必要な資機材(立看板等)を一定数配備
- 令和3年度

災害時の迅速な廃棄物処理に備えるため、市が設置する仮置場候補地の現地調査を行い、周辺環境や立地条件等仮置場としての適正度について整理を実施

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
・災害に対するレジリエンスを高めるため、関係法令や国の対策指針の改定による新たな知見を取り込みつつ、地域防災計画や被害想定等、本計画に係る諸条件の変更に合わせた点検・改定を行い、実効性を確保していく。 ・あわせて、災害廃棄物を適正かつ円滑に処理するためには市民の協力が必要なため、排出方法や分別の重要性等について、ホームページや防災訓練、ハザードマップへの情報掲載(検討中)等を活用し、周知啓発に努める。		

<指標の達成状況>

総合評価

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	0				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源					
② 人件費(千円)	2,277	人工			
正規	2,277	0.3			
会計年度任用(ワカ16、ワカ17(1・2類))	0				
会計年度任用(ワカ17(3・4類))	0				
合計コスト①+②	2,277				

事務事業評価票

部局名 環境エネルギー部 課名 環境・地域エネルギー課

事務事業名	生物多様性保全事業
-------	-----------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	生物多様性保全事業費

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

基本施策名	4-3 自然・生活環境の保全
5つの重点戦略	ゼロカーボン戦略
予算要求区分	経常経費

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

市長公約	公約	4 防災・SDGs
主な取組み		○ 二酸化炭素排出の削減、強靱なまちづくり

<事業の狙い>

事業計画年度

H28~

生きものの恵みを将来世代も受け取れるよう、松本市生物多様性地域戦略「生きものあふれる松本プラン」の基本方針である「学習し、広める」「想像し、考える」「実践し、活かす」に沿って生物多様性の保全を推進し、多様な環境に育まれた、生きものあふれる豊かな自然の維持と再生をめざすもの

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

- 生物多様性モニタリング調査
生物多様性保全事業に関する指標とするため、地点を定めて継続的に、生物調査を行うもの
令和3年度実績・梓川橋上流地域で植物相等の調査を実施(春季・秋季:計7日間)
- ゴマシジミ保護回復事業
国内希少野生動植物種に指定され、市の天然記念物でもある、奈川地区のゴマシジミを保護するもの
令和3年度実績・市民調査員による生息状況調査を実施(8~9月の計8日間)
- 市民参加型生きもの調査
調査をとおして生きものに興味を持ってもらい、市民が生物多様性について、考えるきっかけとなることをねらいとして実施するもの
令和3年度実績・市民ホテル調査を実施し、45人・456件の報告があった。
- 生物多様性エコスクール事業
市民の生物多様性に関する理解を深めるため、啓発事業として、市民等を対象とした生物多様性に関する環境学習講座を実施するもの
令和3年度実績・開催数3講座、総参加人数45人
※新型コロナウイルス感染症拡大による影響で他3講座を中止

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
<p>・生物多様性に関する生きもの調査の結果が蓄積されてきている一方で、結果をふまえて必要な保全事業等につなげることができていないことが課題。保全に必要な効果的な取組みの展開を検討する。 ・松本市生物多様性地域戦略に掲載している施策・取組みを十分に展開できていないのが課題。推進体制の強化や具体的な行動計画の策定などの必要性について検討する。</p>		

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	生物多様性に関する環境学習講座等の開催数				
指標の設定理由	環境学習等への参加を通じて、市民の生物多様性保全に対する重要性の理解につながるため				
目標値	150	150	150	150	150
実績値	123				
達成度	82.0%				
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	914				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	914				
② 人件費(千円)	3,036	人工			
正規	3,036	0.4			
会計年度任用(ワ2946、ワ1-29461-2類)	0				
会計年度任用(ワ1-29463-4類)	0				
合計コスト①+②	3,950				

事務事業評価票

部局名 環境エネルギー部 課名 環境・地域エネルギー課

事務事業名	地球温暖化防止事業
-------	-----------

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

基本施策名	4-1 再生可能エネルギーの導入促進	市長公約	公約	3 産業・経済
5つの重点戦略	ゼロカーボン戦略	主な取組み	○「分散型再生可能エネルギー発電」の普及推進	
予算要求区分	経常経費・政策的経費			

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	地球温暖化防止事業費

<事業の狙い>

事業計画年度 H13~

深刻化する地球温暖化問題に対し、再生可能エネルギー設備や省エネルギー設備等の導入を促すとともに、その効率的な運用によりエネルギー使用量の削減を図る。

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

- 1 実施内容
2050ゼロカーボン実現に向け、温暖化対策を実施する。
- 2 活動実績
 - (1) 地球温暖化対策実行計画推進事業及び再生可能エネルギー地産地消推進事業両計画に基づく進行管理を実施
 - (2) 温暖化対策に資する補助金の交付
R3年度は、住宅用太陽光発電設備、省エネ設備等、80,450千円を補助
 - (3) まつもとゼロカーボン実現計画策定事業
地球温暖化対策実行計画(平成28年度改訂版)及び再生可能エネルギー地産地消推進計画の改定、地域気候変動適応計画の新規策定に向けた検討を実施
 - (4) 松本市役所エコオフィスプラン進行管理
R3年度の市事務事業全体のCO2排出量は約3万t(見込み)で削減目標を達成
 - (5) まつもとゼロカーボン実現プラン策定事業
松本市役所エコオフィスプランの改定に向けた検討を実施
 - (6) 松本市ゼロカーボン実現条例制定事業
2050ゼロカーボンを目的とした脱炭素に関する条例制定に向け検討を実施
 - (7) 脱炭素先行地域関連事業(乗鞍地域及び波田駅周辺)
脱炭素先行地域の公募申請に応募、波田駅周辺の脱炭素化に向けた検討を実施
 - (8) 松本平ゼロカーボンコンソーシアム関連事業
松本平で脱炭素事業を行う事業者等を産学官が連携して支援する組織を設立
 - (9) 地域エネルギー事業会社関連事業
地域エネルギー事業会社設立に向けた検討を実施

現状に対する認識	今後の方向性:	拡充
2050ゼロカーボンを実現に向け、条例制定や計画策定を進めるとともに、地域性と事業性が両立したエネルギー自立地域の形成が促進される事業展開の支援を目的とした松本平ゼロカーボン・コンソーシアムを設立したが、温室効果ガス削減に直接寄与する新規施策を実施するまでには至っていない。 脱炭素先行地域での事業や、地域エネルギー事業会社の検討結果を踏まえ、地域や市民の脱炭素化に向けた支援を実施する。		

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	市域の温室効果ガス排出量(ネット値)(t-CO ₂)(統計の公表の都合上、4年前の値となる)				
指標の設定理由	脱炭素化に向けた取組みの効果を総合的に評価できる指標であるため				
目標値 (基準年度比削減量)	1,634,321 (△222,862)	1,578,606 (△278,577)	1,522,890 (△334,293)	1,467,175 (△390,008)	1,411,459 (△445,724)
実績値 (基準年度比削減量)	1,565,472 (△291,711)				
達成度	104.4%				
② 成果指標(指標名)	市有施設全体の温室効果ガス排出量(t-CO ₂)				
指標の設定理由	市の事務事業としての脱炭素化に向けた取組みの効果を評価できる指標であるため				
目標値 (基準年度比削減量)	28795 (△10,056)	27539 (△11,312)	26282 (△12,569)	25025 (△13,826)	23768 (△15,083)
実績値 (基準年度比削減量)	33,544				
達成度	85.8%				

※基準年度(2013年度)排出量 ①:1,857,183(t-CO₂) ②:38,851(t-CO₂)

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	85,109				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	85,109				
② 人件費(千円)	40,970	人工			
正規	37,950	5			
会計年度任用 (ホウシロ、ハ・トク(1)・2類)	3020	1			
会計年度任用 (ハ・トク(1A3・4類)	0				
合計コスト①+②	126,079				

事務事業評価票

部局名 環境エネルギー部 課名 環境・地域エネルギー課

事務事業名	ごみ減量対策事業(3R推進事業)
-------	------------------

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

基本施策名	4-2	3R徹底による環境負荷軽減	市長公約	公約	4 防災・SDGs
5つの重点戦略		ゼロカーボン戦略	市長公約	主な取組み	○ 二酸化炭素排出の削減、強靱なまちづくり
予算要求区分		経常経費			

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	ごみ減量対策事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H20~

松本市一般廃棄物処理計画の推進を図るため、「もったいない」をキーワードとした3R(リデュース、リユース、リサイクル)に係る事業を実施するもの

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

- 松本キッズ・リユースひろば事業
使用期間の短い子ども服や育児用品を地域づくりセンター等市内26か所で無料回収し、必要としている子育て世帯に無料で配付(配付会を年間6回開催、延べ1,350世帯が参加)
- 不用食器リサイクル事業
市民との協働により、家庭で不用になった食器を回収し、状態の良いものは無料で配布(リユース)し、その他のものは新しい製品の原材料としてリサイクルを行う。市の役割として回収食器の運搬及び再資源化費の負担並びに事業のPR等を実施
3/19(土)、20(日)に市内2拠点(波田、入山辺)で開催

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
【松本キッズ・リユースひろば】参加者の約8割がアンケートで「満足」と回答しており、リユースを通じて「もったいない」意識の醸成につながっている。配付量も10トンを超えており、課題を改善しつつ事業を継続する。 【不用食器リサイクル事業】全市的な取組みを目指して2拠点(波田、入山辺)での開催となった。市民団体との協働事業として長期的に行っていくために、今後もそれぞれの役割を明確にし、現状の規模で事業を継続していく。		

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	キッズ・リユースひろば事業リユース品年間配付重量(トン)(H28年~R2年の平均値13.3t)				
指標の設定理由	本事業は、ごみの減量に向けた取組みであるため。				
目標値	13.3	13.3	13.3	13.3	13.3
実績値	12.8				
達成度	96.2%				
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	6,642				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	6,642				
② 人件費(千円)	3,640	人工			
正規	3,036	0.4			
会計年度任用(Ⅱ-174161-2類)	604	0.2			
会計年度任用(Ⅱ-174163-4類)	0				
合計コスト①+②	10,282				

事務事業評価票

部局名 環境エネルギー部 課名 環境・地域エネルギー課

事務事業名	ごみ減量対策事業(松本山雅3R推進デー事業)
-------	------------------------

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

基本施策名	4-2	3R徹底による環境負荷軽減	市長公約	公約	4 防災・SDGs
5つの重点戦略		ゼロカーボン戦略	市長公約	主な取組み	○ 二酸化炭素排出の削減、強靱なまちづくり
予算要求区分		政策的経費			

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	ごみ減量対策事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

R元～R3

ごみの減量及びそれを通じたゼロカーボンの実現に向け、松本山雅FCホームゲームにおいて「松本市3Rでゼロカーボンマッチ」を開催し、3Rの推進に関する啓発を行うもの

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

1 実施内容	市民の注目度の高い松本山雅FCのホームゲームにおいて、本市の協賛による「松本市3Rでゼロカーボンマッチ」を開催し、ピッチ内外で様々な啓発を実施するもの
2 活動実績	<p>(1) 対象試合 2021明治安田生命J2リーグ第40節vsレノファ山口戦 (令和3年11月21日(日)開催)</p> <p>(2) 実施内容 ア 啓発動画の作成及び放映 イ ピッチ内イベント(市長あいさつ、キックインセレモニー、ピッチ内ウォーク、ハーフタイム生CM) ウ 3R実践ブース(フードドライブ、キッズ・リユースミニ配布会、フードシェアリングサービス)の周知啓発、ごみ分別ゲーム、プラごみ分別体験 等)</p> <p>(3) 実績 ア 対象試合来場者数:7,811名 イ 来場者アンケート回答者数:148名 ウ 3R実践ブース参加者数:200名以上 エ ノベルティ(バンブーカトラリー)配布数:260個</p>

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	廃止
<p>・アンケート結果等から、無関心層の啓発に一定の効果があったものと評価する。 ・消費者庁消費者行政活性化事業補助金(強化事業)の事業期間(R元～R3)満了に伴い、令和3年度をもって事業廃止</p>		

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	3Rという言葉を知っている人の割合(松本市3Rでゼロカーボンマッチでのアンケート調査結果)				
指標の設定理由	本事業は3Rに関する周知啓発を目的としているため。				
目標値	60%				
実績値	60%				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	2,200				
国・県	1,100				
利用者負担金					
その他					
一般財源	1,100				
② 人件費(千円)	1,518	人工			
正規	1,518	0.2			
会計年度任用(ワカ16、ワカ17(1・2類))	0				
会計年度任用(ワカ17(3・4類))	0				
合計コスト①+②	3,718				

環境保全課

課長 中村 昌司

事務事業評価票

部局名 環境エネルギー部 課名 環境保全課

事務事業名	家庭雑排水対策
-------	---------

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

基本施策名	4-3	自然・生活環境の保全	市長公約	公約	—
5つの重点戦略		—	市長公約	主な取組み	—
予算要求区分		経常経費			

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	家庭雑排水対策費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

公共用水域の水質保全のため、家庭雑排水の適正処理を推進する。

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

- 合併処理浄化槽設置整備事業
公共下水道処理区域外地域を対象に、合併処理浄化槽の設置に対し補助金を交付するもの。公共下水道に接続する場合と比較して合併浄化槽を設置した世帯の負担が高くなるないように、国、県、市で補助するもの
R3実績 … 7基 3,032千円
- 合併処理浄化槽清掃事業
法令で定められた浄化槽清掃を行う者に対し、年1回に限り補助金を交付するもの。設置と同様に公共下水道接続施設の世帯と比較した場合の経済的負担を軽減するもの
R3実績 … 237基 3,943千円
- 家庭雑排水簡易浄化槽汚泥清掃事業
家庭雑排水収集・運搬許可業者に補助を行い、市民の収集・運搬料金負担を軽減するもの
R3実績 … 479件 569千円

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
・家庭雑排水の適正処理により、公共用水域の水質が保全されている。 ・家庭雑排水の適正処理をより推進するため、今後も事業を継続していく。		

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	快適生活率				
指標の設定理由	家庭雑排水適正処理の指数として				
目標値	98.8%	98.9%	99.0%	99.1%	99.2%
実績値	99.1%				
達成度	100.3%				
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	9,795				
国・県	3,274				
利用者負担金					
その他					
一般財源	6,521				
② 人件費(千円)	3,643	人工			
正規	3,643	0.48			
会計年度任用 (H3046、H1-10461-2類)	0				
会計年度任用 (H1-10463-4類)	0				
合計コスト①+②	13,438				

事務事業評価票

部局名 環境エネルギー部 課名 環境保全課

事務事業名	四賀地域排水施設管理
-------	------------

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

基本施策名	4-3	自然・生活環境の保全	市長公約	公約	—
5つの重点戦略	—		市長公約	主な取組み	—
予算要求区分	経常経費				

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	四賀地域排水施設管理費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

公共下水道処理区域外における、公共用水域の水質保全を図るもの

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

- 四賀第2・第3浄化施設維持管理事業
四賀地区で宅地分譲した団地の汚水を適正に集合処理するため、大型の合併処理浄化槽で維持管理を行うもの
- 施設概要
四賀第2浄化施設(五常) 井刈団地 80人槽
四賀第3浄化施設(反町) 反町団地 100人槽

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
汚水の適正処理により、公共用水域の水質が保全されている。汚水を適正処理するため、今後も事業を継続していく。		

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	施設利用率				
指標の設定理由	対象世帯の施設利用により、公共用水域の水質が保全されるため				
目標値	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
実績値	100.0%				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	2,083				
国・県					
利用者負担金	1,795				
その他					
一般財源	288				
② 人件費(千円)	380	人工			
正規	380	0.05			
会計年度任用 (Ⅱ-17416、Ⅱ-17417・2類)	0				
会計年度任用 (Ⅱ-17413・4類)	0				
合計コスト①+②	2,463				

事務事業評価票

部局名 環境エネルギー部 課名 環境保全課

事務事業名	負担金(長野県合併処理浄化槽普及促進協議会)
-------	------------------------

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

基本施策名	4-3	自然・生活環境の保全	市長公約	公約	—
5つの重点戦略		—	市長公約	主な取組み	—
予算要求区分		経常経費			

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

<事業の狙い>

事業計画年度

～

合併処理浄化槽の設置を促進するため、行政機関で構成する団体の一員として合併処理浄化槽の普及・啓発活動を実施するもの

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

1 協議会の概要
(1) 会員数 65市町村
(2) 負担割合
ア 市(5万人以上) 7,000円
イ 市(5万人未満) 4,000円
ウ 町村 2,000円
2 主な活動
研修会の開催、補助枠拡大のため国・県への要望活動、参考書籍の配布

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
・合併処理浄化槽の設置を推進するため、今後も活動を継続していく。		

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	快適生活率				
指標の設定理由	合併処理浄化槽設置により向上する、家庭雑排水の適正処理率を指標とした。				
目標値	98.8%	98.9%	99.0%	99.1%	99.2%
実績値	99.1%				
達成度	100.3%				
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	7				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	7				
② 人件費(千円)	76	人工			
正規	76	0.01			
会計年度任用 (Ⅱ-1イ1、Ⅱ-1イ21、Ⅱ-1イ22)	0				
会計年度任用 (Ⅱ-1イ1イ3-4類)	0				
合計コスト①+②	83				

事務事業評価票

部局名 環境エネルギー部 課名 環境保全課

事務事業名	葬祭センター管理運営
-------	------------

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

基本施策名	4-3	自然・生活環境の保全	市長公約	公約	—
5つの重点戦略		—	市長公約	主な取組み	—
予算要求区分		経常経費・政策的経費			

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	葬祭センター管理運営費

<事業の狙い>

事業計画年度 R4 ~ R5

松本市営葬祭センターは、市内唯一の火葬場として、市民の火葬需要に応えるもの。
施設運営は、指定管理者制度を導入しているため、この関係事務を行うとともに、施設が正常に稼働するよう施設の改修、更新工事を行うもの

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

- 遺体の火葬
年間人体火葬件数 2,693件(死産児、胞衣を含む。)
- 動物(犬・猫等)の火葬
動物火葬件数 1,360件
- 改修・補修工事
(1) 火葬炉改修(4炉及び動物炉)
(2) 火葬炉セラミック化(1炉)
- 現指定管理者概要
(1) 商号等
新潟県新潟市北区島見町3307番地16
富士建設工業(株) 代表取締役 鳴海 利彦
(2) 指定管理料
103,545,230円
(3) 期間
令和2年度～令和6年度の5年間
- 評価
施設内の新型コロナウイルス感染防止対策、施設維持管理も適正に行われている。

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
<p>・市内の火葬需要には、ほぼ応えている。 ・また、指定管理者制度を導入し、効率的な運営を行っている。 ・新型コロナウイルス感染防止対策、施設維持管理も適正に行い、年末・年始の休業日以外は、保守点検等の時間を除き、火葬を休止することなく実施している。</p>		

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	人体火葬件数				
指標の設定理由	最も中心となる業務であるため				
目標値	2,634	2,634	2,634	2,634	2,634
実績値	2,693				
達成度	102.2%				
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	114,938				
国・県					
利用者負担金	32,010				
その他					
一般財源	82,928				
② 人件費(千円)	2,277	人工			
正規	2,277	0.3			
会計年度任用 (Ⅶ-17416、Ⅶ-17417・2類)	0				
会計年度任用 (Ⅶ-17413・4類)	0				
合計コスト①+②	117,215				

事務事業評価票

部局名 環境エネルギー部 課名 環境保全課

事務事業名 蟻ヶ崎西区公民館管理運営

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

基本施策名	4-3	自然・生活環境の保全	市長公約	公約	—
5つの重点戦略	—		市長公約	主な取組み	—
予算要求区分	経常経費				

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	蟻ヶ崎西区公民館管理運営費

<事業の狙い>

事業計画年度

～
 葬祭事業の円滑な運営に資するため、松本市宮葬祭センター所在の町会に対して無償貸付を行っている公民館施設の管理運営に関することを、町会と協議しながら行うもの

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

- 実施内容
 - 消防施設点検
 - 借地料の支出
 - 市長との懇談会
 - 施設等の修繕
- 活動実績
 - 消防施設点検 2回
 - 借地料の支出 1回
 - 市長との懇談会
(R3は、新型コロナウイルス対策のため未開催)
 - ふれあい広場樹木剪定実施

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
葬祭センター所在の町会から施設運営に関し協力を得るうえでは欠かせない施設であり、現在町会との関係は良好である。		

<指標の達成状況>

総合評価

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	668				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	668				
② 人件費(千円)	759	人工			
正規	759	0.1			
会計年度任用 (Ⅶ-17416、Ⅶ-17417・2類)	0				
会計年度任用 (Ⅶ-17416・3・4類)	0				
合計コスト①+②	1,427				

事務事業評価票

部局名 環境エネルギー部 課名 環境保全課

事務事業名	負担金(安曇野松筑広域環境施設組合)
-------	--------------------

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略> <市長公約の位置付け、予算要求区分>

基本施策名	4-3	自然・生活環境の保全	市長公約	公約	—
5つの重点戦略		—	市長公約	主な取組み	—
予算要求区分		経常経費			

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

<事業の狙い>

事業計画年度

～
 葬祭事業の円滑な運営に資するため、2市4村で共同処理を行っている一部事務組合所管の広域豊科葬祭センターの管理運営方針及び予算案を協議し、松本市負担金の支出を行うもの

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

1 会議	
(1) 組合議会	3回
(2) 理事会	3回
(3) 担当課長会議	2回
2 会議の主な議題	
(1) 令和2年度決算	
(2) 令和3年度補正予算	
(3) 令和4年度当初予算	
(4) 条例改正	
(5) 指定管理者制度導入の検討	
3 広域豊科葬祭センターの松本市民利用実績	
(1) 人体火葬件数	168件
(2) 動物火葬件数	312件
4 評価	
広域豊科葬祭センターは、松本市営葬祭センターを補完する施設として重要(四賀地区を中心に一定の利用者がある)	

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
・広域豊科葬祭センターは、松本市営葬祭センターを補完する施設として重要である。 ・四賀地区は地理的条件で松本市営葬祭センターより近いため、特に利用者が多い。		

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	人体火葬件数				
指標の設定理由	最も中心となる業務であるため				
目標値	168	168	168	168	168
実績値	168				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	14,272				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	14,272				
② 人件費(千円)	1,139	人工			
正規	1,139	0.15			
会計年度任用(Ⅱ-174161-2類)	0				
会計年度任用(Ⅱ-174163-4類)	0				
合計コスト①+②	15,411				

事務事業評価票

部局名 環境エネルギー部 課名 環境保全課

事務事業名	公害対策関係
-------	--------

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

基本施策名	4-3	自然・生活環境の保全	市長公約	公約	—
5つの重点戦略		—	市長公約	主な取組み	—
予算要求区分		経常経費・政策的経費			

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	公害対策関係費

<事業の狙い>

事業計画年度

市民、事業者、行政がそれぞれの役割を認識し、水質汚濁や大気汚染などが少ない快適な生活環境の保全、向上を目指す。

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

1 実施内容	環境調査の実施 法令等に基づく常時監視や事業場への立入検査の実施
2 活動実績	(1) 市内河川の水質調査(35カ所) (2) 市内河川の水生生物を指標とした水質の調査(13カ所) (3) 市内湖沼の水質調査(1カ所) (4) 市内地下水の水質調査(17カ所) (5) 市内地下水の水位調査(3カ所) (6) 水質汚濁防止法に基づき、特定施設設置事業場の排出水が適正処理されているかを確認し、必要な場合は改善指導等を行う、事業場への立入検査(立入件数42件) (7) 大気常時監視(一般環境大気1カ所、自動車排出ガス測定1カ所) (8) 有害大気汚染物質の測定(1カ所) (9) ダイオキシン類の測定(一般環境大気1カ所、発生源周辺大気3カ所、河川水1カ所、地下水1カ所、土壌1カ所) (10) 一般環境、長野道沿線、道路沿線の騒音調査(11カ所)

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
<ul style="list-style-type: none"> 良好な水環境や大気環境が保たれている。 公害苦情件数が横ばい傾向にあり、快適な生活環境が保たれている。 今後も法令等に基づく事業場への立入検査などを継続し、快適な生活環境の維持をめざしたい。 		

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	公共用水域5カ所の河川水質(BOD)の環境基準達成率(%)				
指標の設定理由	環境基準のうちBODが一般的にきれいな水の目安であるため				
目標値	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
実績値	100.0%				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)	大気常時監視3カ所の大気環境基準(二酸化硫黄・二酸化窒素)の達成率(%)				
指標の設定理由	環境基準のうち一般的にきれいな空気の目安であるため				
目標値	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
実績値	100.0%				
達成度	100.0%				

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	24,134				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	24,134				
② 人件費(千円)	30,360	人工			
正規	30,360	4			
会計年度任用(ワカ16、ワ17(161・2類))	0				
会計年度任用(ワ17(163・4類))	0				
合計コスト①+②	54,494				

事務事業評価票

部局名 環境エネルギー部 課名 環境保全課

事務事業名	公衆便所管理
-------	--------

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

基本施策名	4-3	自然・生活環境の保全	市長公約	公約	—
5つの重点戦略		—	市長公約	主な取組み	—
予算要求区分		経常経費			

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	公衆便所管理費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

公共福祉の増進を図るため、公衆便所を適正に管理する。

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

1 実施内容
(1) 公衆便所管理事業 環境保全課が管理する公衆トイレ(33カ所)の清掃、点検を行い、市民が利用しやすいように清潔に保つもの
(2) 公衆便所整備事業 環境保全課が管理する公衆トイレについて「安心」「快適」「親しみ」を基本方針に公衆便所を整備するもの
2 活動実績
(1) 公衆便所管理事業 次の者に清掃及び点検を委託した。 ア ゼンユウ総業㈱(2,195,500円) イ ㈱信州緑地(6,545,000円) ウ シルバー人材センター(398,062円) エ 地元団体(250,800円)
(2) 公衆便所整備事業 次の公衆便所の洋式化工事を実施した。 ア 縄手東公衆便所(1,565,300円) イ 縄手西公衆便所(1,784,200円) ウ 西堀公園公衆便所(1,576,300円) エ 分銅町公園公衆便所(1,511,400円)

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
公衆トイレは、多くの市民や観光客等に利用され、公衆衛生の向上と公共福祉の増進に寄与している。 観光客、女性、年配者や障害者など、誰もが気持ちよく安全に公衆トイレを利用できるように、清潔で快適なトイレ環境を保つため維持管理を継続して行く。		

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	環境保全課所管公衆トイレにおける洋式便器の割合				
指標の設定理由	まちの公衆衛生の整備に関する指標の一つであるため				
目標値	38.2%	38.2%	38.2%	38.2%	38.2%
実績値	38.2%				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	21,046				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	21,046				
② 人件費(千円)	3,779	人工			
正規	759	0.1			
会計年度任用(Ⅱ-1916、Ⅱ-1916(1-2類))	3020	1			
会計年度任用(Ⅱ-1916(3-4類))	0				
合計コスト①+②	24,825				

事務事業評価票

部局名 環境エネルギー部 課名 環境保全課

事務事業名	し尿収集業務
-------	--------

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

基本施策名	4-3	自然・生活環境の保全	市長公約	公約	—
5つの重点戦略		—	市長公約	主な取組み	—
予算要求区分		経常経費			

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	し尿収集業務費

<事業の狙い>

事業計画年度

し尿汲み取りを適正に行い、快適な生活環境を支援するもの

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

- 清掃確認券発行事業
清掃確認券(汲み取り場所、汲み取り氏名が記入された回数券)を用いて、業者による適正なし尿汲み取りを管理するもの
R3年度…675件
- し尿汲み取り料金補助事業
生活保護世帯や障がい者世帯など、生活困窮者に対し、汲み取り料金を全額補助するもの
R3年度…32世帯

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
適正なし尿汲み取りを行うため、今後も事業を継続していく。		

<指標の達成状況>

総合評価

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	863				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	863				
② 人件費(千円)	152	人工			
正規	152	0.02			
会計年度任用 (Ⅶ-17416、Ⅶ-17417・2類)	0				
会計年度任用 (Ⅶ-174163・4類)	0				
合計コスト①+②	1,015				

事務事業評価票

部局名 環境エネルギー部 課名 環境保全課

事務事業名	松本地区霊園管理
-------	----------

<予算上の位置付け>

会計名	霊園
予算中事業名	松本地区霊園管理費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

市営霊園の円滑な運営に資するため、中山霊園、蟻ヶ崎霊園及び並柳霊園の墓所管理を行うもの

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

1 管理する墓所数
(1) 中山霊園
ア 一般墓所 9,166区画
イ 合葬式墳墓(屋内型) 1施設
ウ 合葬式墳墓(屋外型樹木葬) 1施設
(2) 蟻ヶ崎霊園 一般墓所 2,445区画
(3) 並柳霊園 一般墓所 482区画
2 現指定管理者概要
(1) 商号等
松本市大字島内1259番地137
(株)信州グリーン 代表取締役 藤原 繁幸
(2) 指定管理料
31,000,000円
(3) 期間
令和2年度～令和6年度の5年間

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
・特に屋外型合葬式墳墓(樹木式埋蔵場所)は、指定管理者により芝など適正に管理されており、景観もよく申請者が増加している。 ・今後も指定管理者制度により、効率的な運営を行っていく。		

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

基本施策名	4-3	自然・生活環境の保全	市長公約	公約	—
5つの重点戦略		—	市長公約	主な取組み	—
予算要求区分	経常経費・政策的経費				

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	合葬式墳墓使用貸付数				
指標の設定理由	新たな墓地形態として注目を集めている墓所の利用状況を示す数値であるため				
目標値	1,900	2,100	2,300	2,500	2,700
実績値	1,900				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)	一般墓所使用申請数				
指標の設定理由	霊園特別会計の最も基幹となる収入に結びつく数値であるため				
目標値	70	70	70	70	70
実績値	64				
達成度	91.4%				

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	45,795				
国・県					
利用者負担金	45,795				
その他					
一般財源					
② 人件費(千円)	3,795	人工			
正規	3,795	0.5			
会計年度任用(Ⅱ-174161-2類)	0				
会計年度任用(Ⅱ-174163-4類)	0				
合計コスト①+②	49,590				

事務事業評価票

部局名 環境エネルギー部 課名 環境保全課

事務事業名	西部地区霊園管理
-------	----------

<予算上の位置付け>

会計名	霊園
予算中事業名	西部地区霊園管理費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

市営霊園の円滑な運営に資するため、合併地区(奈川、梓川、波田地区)にある7霊園の墓所管理を行うもの

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

1 実施内容	合併地区(奈川、梓川、波田地区)にある7霊園の墓所管理を行うもの 主な事業:奈川、梓川及び波田地区霊園管理清掃業務
2 管理する墓所数	
(1) 奈川地区	
ア 奈川霊園	一般墓所116区画
(2) 梓川地区	
ア あずさがわ霊園	一般墓所206区画
イ 上野霊園	一般墓所125区画
ウ 横沢霊園	一般墓所 13区画
(3) 波田地区	
ア さみぞ霊園	一般墓所173区画
イ 下原霊園	一般墓所368区画
ウ つつじヶ丘霊園	一般墓所393区画

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
<ul style="list-style-type: none"> 墓所の管理清掃について適正に業務が行われている。 区画については、毎年度、一定数の貸付を行っている。 今後は、奈川霊園など遠隔地の効率的な管理を研究する。 		

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

基本施策名	4-3	自然・生活環境の保全	市長公約	公約	—
5つの重点戦略		—	市長公約	主な取組み	—
予算要求区分		経常経費			

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	一般墓所貸付件数				
指標の設定理由	霊園特別会計の最も基幹となる収入に結びつく数値であるため				
目標値	1,150	1,170	1,190	1,210	1,230
実績値	1,180				
達成度	102.6%				
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	2,112				
国・県					
利用者負担金	2,112				
その他					
一般財源					
② 人件費(千円)	759	人工			
正規	759	0.1			
会計年度任用 (Ⅱ-1741、Ⅱ-1741(1)-2類)	0				
会計年度任用 (Ⅱ-1741(3)-4類)	0				
合計コスト①+②	2,871				

事務事業評価票

部局名 環境エネルギー部 課名 環境保全課

事務事業名	合葬式墳墓整備事業
-------	-----------

<予算上の位置付け>

会計名	霊園
予算中事業名	合葬式墓地整備事業費

<事業の狙い>

事業計画年度 H23 ~

中山霊園に墓所の新たな形態となる合葬式墳墓を整備するもの
お墓を持つことができない、または負担に思う市民ニーズに応えるとともに、不明墓所になることを防ぐもの

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

- 屋内型埋蔵場所受入可能件数
個別埋蔵 800件
共同埋蔵 1,200件 計 2,000件
平成23年度に既存建物を改修し、平成24年度に各400件受入可能な施設整備
平成29年度に共同埋蔵場所を400件分増設
令和元年度に個別埋蔵場所を400件分増設
令和元年度に共同埋蔵場所の埋蔵数の見直しを行い、受入数400体分増加
- 屋外型埋蔵場所受入可能件数
樹木式埋蔵 960件
平成29年度に新たに960件受入可能な施設整備
令和2年度から、生前申請の受付を開始
- 主な改修工事等
(1) 屋内型合葬式墳墓墓誌増設工事
(2) 屋内型合葬式墳墓献花台屋根設置工事

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	拡充
・市民需要を把握しながら、さらに施設増設を進める。 ・要望の多い屋外型樹木式埋蔵場所の生前申請を令和2年度から開始し、より市民要望に応えられている。		

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

基本施策名	4-3	自然・生活環境の保全	市長公約	公約	—
5つの重点戦略	—		市長公約	主な取組み	—
予算要求区分	経常経費・政策的経費				

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	屋内型合葬式埋蔵場所受入可能件数				
指標の設定理由	事業費予算であるので、施設整備件数が指標となるため				
目標値	2,000	2,000	2,000	3,500	3,500
実績値	2,000				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	3,014				
国・県					
利用者負担金					
その他	3,014				
一般財源					
② 人件費(千円)	1,518	人工			
正規	1,518	0.2			
会計年度任用 (Ⅱ-17416、Ⅱ-17417・2類)	0				
会計年度任用 (Ⅱ-17413・4類)	0				
合計コスト①+②	4,532				

事務事業評価票

部局名 環境エネルギー部 課名 環境保全課

事務事業名	墓所補修整備事業
-------	----------

<予算上の位置付け>

会計名	霊園
予算中事業名	墓所補修整備事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

市営霊園の円滑な運営に資するため、市営霊園10か所の補修が必要な箇所について、補修を行うもの

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

1 補修工事箇所
(1) 中山霊園
ア 松枯れ樹木伐採
イ 第1造成地ゲート改修工事
ウ 案内板更新工事
エ 手すり設置工事
オ 進入道路防犯灯LED化工事
(2) 蟻ヶ崎霊園
東西通路防犯灯LED化工事
(3) 並柳霊園
インターロッキング改修工事

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
・指定管理者(松本地区)、管理業務委託業者(西部地区)との綿密な情報交換を行い、補修必要箇所を適正に把握している。 ・指定管理者が行う利用者アンケートでは年々整備が行き届き、きれいになっているとの意見が多数ある。		

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

基本施策名	4-3	自然・生活環境の保全	市長公約	公約	—
5つの重点戦略	—		市長公約	主な取組み	—
予算要求区分	経常経費				

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	利用者アンケート調査における満足度				
指標の設定理由	整備事業の成果を表すものであるため				
目標値	85.0%	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上
実績値	85.0%				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	11,024				
国・県					
利用者負担金					
その他	11,024				
一般財源					
② 人件費(千円)	1,518	人工			
正規	1,518	0.2			
会計年度任用(ワカ16、ワカ17(1・2類))	0				
会計年度任用(ワカ17(3・4類))	0				
合計コスト①+②	12,542				

事務事業評価票

部局名 環境エネルギー部 課名 環境保全課

事務事業名	中山霊園第3次造成事業
-------	-------------

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略> <市長公約の位置付け、予算要求区分>

基本施策名	4-3	自然・生活環境の保全	市長公約	公約	—
5つの重点戦略	—		主な取組み		—
予算要求区分	経常経費・政策的経費				

<予算上の位置付け>

会計名	霊園
予算中事業名	中山霊園第3次造成事業費

<事業の狙い> 事業計画年度 H13 ~

新たに墓所区画を必要とする方の需要に応えるために、平成13年度から着手した第3次造成地に2,178区画の墓所を整備し、貸付するもの

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

1 実施内容
中山霊園は、平成15年度までに第2次造成事業地の造成が終了する見込みだったが、さらに市民の墓地需要が旺盛であったことから、平成13年度から第3次造成事業に着手したもの
平成13年度～平成19年度 用地取得
平成18年度～平成20年度 起債借入
平成18年度～平成30年度 起債償還
平成19年度～ 墓所区画造成工事
平成20年度～ 墓所区画貸付
2 活動実績
区画募集広告記事掲載
(1) 市民タイムス 1回
(2) MGプレス 1回 計2回

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
一般墓所区画に対する需要を把握しながら造成を継続する。		

<指標の達成状況>	総合評価		A		
	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
① 成果指標(指標名)	中山霊園一般墓所区画数				
指標の設定理由	事業費予算であり、施設整備件数が指標となるため				
目標値	9,166	9,224	9,224	9,284	9,284
実績値	9,073				
達成度	99.0%				
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	132				
国・県					
利用者負担金					
その他	132				
一般財源					
② 人件費(千円)	1,139	人工			
正規	1,139	0.15			
会計年度任用 (Ⅱ-19141・2類)	0				
会計年度任用 (Ⅱ-19143・4類)	0				
合計コスト①+②	1,271				

事務事業評価票

部局名 環境エネルギー部 課名 環境保全課

事務事業名	不明墓所整理事業
-------	----------

<予算上の位置付け>

会計名	霊園
予算中事業名	不明墓所整理事業費

<事業の狙い>

事業計画年度 H10 ~

使用者が不明となった市営霊園10か所について戸籍等の調査を行い、親族等承継者が判明した場合には、承継手続きをしてもらい、不明墓所になることを防止するもの
承継者がいない、不明等の場合には、無縁墳墓として確定する手続きを行うもの

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

1 霊園使用者承継	370件
市営霊園の祭祀の承継の届出を受けた件数	
2 無縁墳墓認定のための看板設置	4件
無縁墳墓に認定するために法で規定された手続きをした件数	
3 無縁墳墓認定	4件
上記2の結果、無縁墳墓に認定した墓所の件数	
4 承継等の意思を示さない者の現地調査	11件
東京都、神奈川県の関係者を訪問した件数	

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
・不明墓所を生まないよう戸籍調査等に努めているが、不明墓所は増加傾向にある。		

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

基本施策名	4-3	自然・生活環境の保全	市長公約	公約	—
5つの重点戦略		—	市長公約	主な取組み	—
予算要求区分		経常経費			

<指標の達成状況>

総合評価

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	384				
国・県					
利用者負担金					
その他	384				
一般財源					
② 人件費(千円)	3,020	人工			
正規	0				
会計年度任用 (Ⅱ-17416、Ⅱ-174161-2類)	3020	1			
会計年度任用 (Ⅱ-174163-4類)	0				
合計コスト①+②	3,404				

事務事業評価票

部局名 環境エネルギー部 課名 環境保全課

事務事業名	マレットゴルフ場整備事業
-------	--------------

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

基本施策名	4-3	自然・生活環境の保全	市長公約	公約	—
5つの重点戦略	—		市長公約	主な取組み	—
予算要求区分	経常経費				

<予算上の位置付け>

会計名	霊園
予算中事業名	マレットゴルフ場整備事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

市営霊園の円滑な運営に資するため、中山霊園に整備したマレットゴルフ場27コースの維持、管理を行うもの

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

1 コース改修工事 R3年度は丸太布設、ベンチ設置等の改修工事を実施
2 現指定管理者概要 (1) 商号等 松本市大字島内1259番地137 ㈱信州グリーン 代表取締役 藤原 繁幸 (2) 目的 地方自治法に基づく指定管理者制度による公の施設の管理及び運営

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
・指定管理者は、地元利用団体と連携を取りながら適切に整備、管理を行っている。 ・無料の施設なので利用者の把握はできないが、大きなトラブルは発生していない。 ・今後も引き続き、地元利用団体と連絡を密に取りながら管理を行う。		

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	利用者アンケート調査の満足度				
指標の設定理由	整備事業の成果を表すものであるため				
目標値	85.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%
実績値	85.0%				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	1,265				
国・県					
利用者負担金					
その他	1,265				
一般財源					
② 人件費(千円)	76	人工			
正規	76	0.01			
会計年度任用 (Ⅶ-17416、Ⅶ-17417・2類)	0				
会計年度任用 (Ⅶ-17416・3・4類)	0				
合計コスト①+②	1,341				

事務事業評価票

部局名 環境エネルギー部 課名 環境保全課

事務事業名	特定地域生活排水事業
-------	------------

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

基本施策名	4-3	自然・生活環境の保全	市長公約	公約	—
5つの重点戦略	—		市長公約	主な取組み	—
予算要求区分	経常経費				

<予算上の位置付け>

会計名	地域排水施設
予算中事業名	特定地域生活排水事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

公共下水道敷設の代替事業として実施された地域排水施設事業により、四賀地域の生活環境整備を図るもの

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

- 四賀戸別合併処理浄化槽維持管理及び清掃事業
浄化槽市町村整備事業(設置主体:市)により設置した戸別合併処理浄化槽の維持管理等を行う。
- 特別会計であるため、事業の健全化に努める。
- 令和3年度に「松本市地域排水施設事業経営戦略」(改訂版)を策定した。
- 設置基数
1,152基
- 管理基数
1,029基(令和4年3月末)
- 公営企業会計への移行
令和6年度に公営企業会計へ移行し、資産を含む経営状況を把握することができるようになり、その上で経営基盤の強化と財政マネジメントの向上を図る。
令和4年度では公営企業適用債を借入し、固定資産台帳整備を実施する。

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
・汚水を適正処理するため、今後も事業を継続していく。		

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	維持管理回数				
指標の設定理由	維持管理回数の頻度を維持することにより、汚水処理を適正に行うため。				
目標値	4	4	4	4	4
実績値	4				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	58,066				
国・県					
利用者負担金	43,848				
その他					
一般財源	14,218				
② 人件費(千円)	3,643	人工			
正規	3,643	0.48			
会計年度任用 (Ⅱ-17416、Ⅱ-17417・2類)	0				
会計年度任用 (Ⅱ-174163・4類)	0				
合計コスト①+②	61,709				

事務事業評価票

部局名 環境エネルギー部 課名 環境保全課

事務事業名	環境衛生推進事業
-------	----------

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

基本施策名	4-3	自然・生活環境の保全	市長公約	公約	—
5つの重点戦略		—	市長公約	主な取組み	—
予算要求区分		経常経費			

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	環境衛生推進費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

身近な地域を流れる河川の美化・浄化を推進するため、市民との協働を進める。
また、河川をきれいにする会の自主的活動の充実を図る。

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

- 1 年2回の「河川をきれいにする会」による18河川一斉清掃の支援。各河川の清掃や総会開催等の事務の補助をするもの
- 2 中心市街地を流れる女鳥羽川の清掃委託業務や堰清掃委託業務を行い、河川美化を行うもの
- 3 特定外来生物の周知及び駆除活動を行うもの

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
・身近な河川の美化・浄化活動を推進するため、支援を継続していく。 ・高齢化に伴い参加者が減少している中で、高校や地元企業等に対し、活動を広くPRし、協力をお願いしていく。		

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	河川美化活動参加者の延べ人数				
指標の設定理由	河川美化・浄化活動の指標として				
目標値	25,700	25,700	25,700	25,700	25,700
実績値	16,514				
達成度	64.3%				
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	4,406				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	4,406				
② 人件費(千円)	5,313	人工			
正規	5,313	0.7			
会計年度任用(ワ314、ワ1-2141-2類)	0				
会計年度任用(ワ1-17413-4類)	0				
合計コスト①+②	9,719				

森林環境課

課長 小岩井 淳

事務事業評価票

部局名 環境エネルギー部 課名 森林環境課

事務事業名	森林造成事業
-------	--------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	森林造成事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

市内の森林の水源涵養・山地災害防止等の多面的機能を発揮させるため、松本市森林整備計画に基づき森林整備を図るもの

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

1 実施内容
(1) 市有林の計画的な整備
(2) 私有林の森林整備補助事業への高上げ補助
(3) 財産区の森林整備補助事業への高上げ補助
2 活動実績
(1) 市有林の計画的な整備 間伐面積10.04ha(四賀大沢、奈川倉沢)
(2) 私有林の森林整備補助事業への高上げ補助 間伐面積35.13ha
(3) 財産区の森林整備補助事業への高上げ補助 間伐面積16.20ha

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
<p>・戦後、造林されたカラマツの人工林が伐期を迎えている中、輸入材により木材の価格が低迷していることから、森林施業意欲の低下及び林業の衰退のため人材が不足しており森林整備が進まない状況である。</p> <p>・森林は水源のかん養、山地災害の防止、二酸化炭素の吸収など多面的な機能を持っており、これらの公益的機能を社会資本として後世に残すために、計画的な整備を継続していくと共に、林業従事者の確保を図る。</p>		

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

基本施策名	4-4	森林の保全・再生・活用
5つの重点戦略	ゼロカーボン戦略	
予算要求区分	経常経費・政策的経費	

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

市長公約	公約	4 防災・SDGs
主な取組み	○ 森林の保全と整備、山と繋がるライフスタイルの構築	

<指標の達成状況>

区分	総合評価		B				
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
① 成果指標(指標名)	間伐実施面積(ha)						
指標の設定理由	森林の持つ多面的な機能を発揮させるため。						
目標値	80	80	80	80	80		
実績値	61						
達成度	76.3%						
② 成果指標(指標名)							
指標の設定理由							
目標値							
実績値							
達成度							

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	50,333				
国・県	6,917				
利用者負担金					
その他	5,624				
一般財源	37,792				
② 人件費(千円)	15,180	人工			
正規	15,180	2			
会計年度任用 (Ⅱ-17416、Ⅱ-17417・2類)	0				
会計年度任用 (Ⅱ-17413・4類)	0				
合計コスト①+②	65,513				

事務事業評価票

部局名 環境エネルギー部 課名 森林環境課

事務事業名	美鈴湖もりの国周辺施設管理
-------	---------------

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

基本施策名	4-4 森林の保全・再生・活用	市長公約	公約	4 防災・SDGs
5つの重点戦略	ゼロカーボン戦略	市長公約	主な取組み	○ 森林の保全と整備、山と繋がるライフスタイルの構築
予算要求区分	経常経費・政策的経費			

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	美鈴湖もりの国周辺施設管理費

<事業の狙い>

事業計画年度

H7 ~

市民の森林における野外体験及びレクリエーションの促進を図るもの。老朽化した設備の改修等を行い、安全な施設利用環境を維持しながら、指定管理者による自主事業を含めた施設運営により、利用者数の増加につなげる。

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

1 実施内容
(1) 指定管理事業 令和3年度から令和7年度まで、株式会社柳沢林業を指定管理者として、施設の使用受付、許可、使用料徴収、施設の維持管理及び自主事業の企画運営等を実施している。
(2) 施設の改修事業等 ア 毎年度、施設の老朽化に伴う修繕工事、キャンプ場内の枯損木伐採等を市が実施している。 イ 令和4年度は、上水道給水ポンプ設備の更新工事を行う(政策的経費)。
2 活動実績
(1) 指定管理事業 令和3年度は、指定管理者が変更となって初年度の運営であり、コロナ禍における休業期間もあったが、指定管理者による施設PRや多数の自主事業の実施等の効果により、新型コロナウイルスの影響前(令和元年度まで)の利用者数(約6,000人弱)を上回る集客があった。
(2) 施設の改修事業等 テントサイト周囲の土留め及び施設案内看板の修繕、枯損木伐採を実施した。

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
<p>平成6年度の施設設置から老朽化が進んでおり、施設の安全利用や集客を維持・拡大するために、継続的に修繕を行う必要がある。</p> <p>令和3年度から指定管理者となった(株)柳沢林業は、林業事業体のノウハウを活かした地元産の薪の販売や、林業関連企画を含んだ自主事業に取り組み、集客も増加していることから、引き続き適切な施設の維持管理のもとで、森林におけるレクリエーション活動の促進を図る。</p>		

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	美鈴湖もりの国利用者数(人)				
指標の設定理由	事業の成果を直接計測できる数値のため				
目標値	4,500	10,000	10,000	10,000	10,000
実績値	8,285				
達成度	184.1%				
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	7,503				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	7,503				
② 人件費(千円)	2,277	人工			
正規	2,277	0.3			
会計年度任用(7月1日、11月1日)	0				
会計年度任用(11月1日)	0				
合計コスト①+②	9,780				

事務事業評価票

部局名 環境エネルギー部 課名 森林環境課

事務事業名	林業施設管理
-------	--------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	林業施設管理費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

林業関連施設の維持管理を行い、利便性の向上を図るとともに、地域住民だけでなく、県内外からの利用者を含めた交流や自然との触れ合いを深める。

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

1 実施内容及び活動実績

- 林業センター(入山辺)、林業者等健康増進管理集会施設(四賀)、五常集落生活環境施設(四賀) 地域住民等の施設利用にあたり、維持管理(清掃、草刈り等)を行う。
- 四賀環境学習の森 指定管理者(四賀むらづくり株式会社)の施設運営により、交流促進センターや遊歩道等の維持管理(清掃、立木伐採、草刈り等)を行う。
- 千鹿頭山森林公園(神田) 枯損木の伐採、トイレ清掃等の維持管理を行い、安全で快適な利用環境を整備する。
- 林業者研修宿泊施設(奈川) 敷地内の草刈り、建物の定期点検等の維持管理を行う。

2 新型コロナウイルス感染症の影響

コロナ禍における施設利用受付の停止や、利用者自らの自粛等による影響が、利用者数の減少に大きく影響しているため、総合評価はCとした。

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
・建築物が老朽化しているため、適切な維持管理に努めながら、利用状況等に基づき、譲渡や除却の適否を検討する。 ・千鹿頭山森林公園や環境学習の森は、アカマツ枯損木が多いため、利用者の安全確保にあたり、継続的な伐採が必要である。		

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

基本施策名	4-4	森林の保全・再生・活用
5つの重点戦略	—	
予算要求区分	経常経費	

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

市長公約	公約	4 防災・SDGs
主な取組み	○ 森林の保全と整備、山と繋がるライフスタイルの構築	

<指標の達成状況>

総合評価

C

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	林業者等健康増進管理集会施設 利用者数(人)				
指標の設定理由	対象施設の利用状況を示すため				
目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
実績値	288				
達成度	28.8%				
② 成果指標(指標名)	環境学習の森 利用者数(人)				
指標の設定理由	対象施設の利用状況を示すため				
目標値	500	500	500	500	500
実績値	4				
達成度	0.8%				

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	10,888				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	10,888				
② 人件費(千円)	10,245	人工			
正規	9,943	1.31			
会計年度任用(7月1日、10月1日、2月1日)	302	0.1			
会計年度任用(10月1日、3月1日)	0				
合計コスト①+②	21,133				

事務事業評価票

部局名 環境エネルギー部 課名 森林環境課

事務事業名	林道維持管理
-------	--------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	林道維持管理費

<事業の狙い>

事業計画年度

市で管理する林道の安全確保のため、適切な維持管理を行う。

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

松本市管理林道 92路線、延長 275,482m

1 実施内容及び活動実績

(1) 林道管理委託
林道の巡回、路面清掃、側溝清掃、除草、除雪等 業務委託

(2) 林道維持工事
舗装補修、路盤維持、法面・路肩補修等工事

(3) 林道よもぎこぼ線復旧工事
ア 実施内容
林道よもぎこぼ線のモルタル吹付法面の一部が崩落し、車両等の通行に支障をきたす状況となったため、早期復旧に向け機能回復を実施している。
イ 活動実績
応急対策工事、本復旧工事
測量設計監督補助業務委託、監督補助業務委託

(4) 林道美ヶ原線測量設計調査業務
ア 実施内容
林道美ヶ原線は、重要な観光路線である。しかし、舗装面の破損が著しいため、舗装改良を行う計画を立てるための、基礎調査を実施する。
イ 活動実績
調査設計業務委託、土質調査業務

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
<ul style="list-style-type: none"> 自然条件等の影響による林道施設の老朽化、破損等が増加している。 林道施設の安全確保のため、引き続き適正な管理及び整備を行う。 		

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

基本施策名	4-4	森林の保全・再生・活用
5つの重点戦略	ゼロカーボン戦略	
予算要求区分	経常経費	

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

市長公約	公約	4 防災・SDGs
主な取組み	○ 森林の保全と整備、山と繋がるライフスタイルの構築	

<指標の達成状況>

総合評価

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	146,850				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	146,850				
② 人件費(千円)	19,881	人工			
正規	18,975	2.5			
会計年度任用 (Ⅱ-1イ1、Ⅱ-1イ1(1)・2類)	906	0.3			
会計年度任用 (Ⅱ-1イ1(3)・4類)	0				
合計コスト①+②	166,731				

事務事業評価票

部局名 環境エネルギー部 課名 森林環境課

事務事業名	補助林道整備事業
-------	----------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	補助林道整備事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H17 ~

森林の整備・管理の効率化に不可欠であり、路線により生活道路・観光道路としても利用される、林道網の整備を計画的に行うもの
 林道美ヶ原線 事業年度 H27 ~
 林道奈川安曇線 事業年度 H17 ~
 林道宮野入線 事業年度 R1 ~

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

1 実施内容	林道美ヶ原線、林道奈川安曇線、林道宮ノ入線の改良、舗装工事を行うもの。
2 活動実績	(1) 林道美ヶ原線 L= 94m 法面改良 (R3迄の実績値 1,170m) (2) 林道奈川安曇線 L=110m 法面改良 (R3迄の実績値 2,790m) (3) 林道宮ノ入線 L=249m 舗装改良 (R3迄の実績値 690m)

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
・林道は森林管理の他に観光道路、生活道路としても活用されており、落石や舗装面の傷みが多く施設も老朽化しているため、計画的な整備を継続して行う必要がある。 ・整備促進には財源確保が課題であり、補助金の他に単独事業として過疎債を利用して整備を行っている。		

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

基本施策名	4-4	森林の保全・再生・活用	市長公約	公約	4 防災・SDGs
5つの重点戦略	ゼロカーボン戦略		市長公約	主な取組み	○ 森林の保全と整備、山と繋がるライフスタイルの構築
予算要求区分	政策的経費				

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	林道美ヶ原線整備延長(m)(累計)				
指標の設定理由	整備延長により事業の進捗状況が把握できるため				
目標値	1,170	1,273	1,306	1,370	1,531
実績値	1,170				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)	林道奈川安曇線整備延長(m)(累計)				
指標の設定理由	整備延長により事業の進捗状況が把握できるため				
目標値	2,750	2,800	2,850	2,917	2,957
実績値	2,790				
達成度	101.5%				

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	95,370				
国・県	45,230				
利用者負担金					
その他	43,000				
一般財源	7,140				
② 人件費(千円)	15,180	人工			
正規	15,180	2			
会計年度任用(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ・Ⅶ・Ⅷ・Ⅷ)	0				
会計年度任用(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ・Ⅶ・Ⅷ)	0				
合計コスト①+②	110,550				

事務事業評価票

部局名 環境エネルギー部 課名 森林環境課

事務事業名	負担金
-------	-----

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

<事業の狙い>

事業計画年度

～

林業振興に資する団体へ負担金を拠出し、各団体の事業の推進を支援するもの

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

※県治山林道協会及び松本地域森林林業振興会ほか5団体への負担金

1 実施内容及び活動実績

- 1 県治山林道協会及び松本地域森林林業振興会
森林の適正な整備・保全及び林業の振興を図るため、要望活動や広報誌の発行等を行う。
- 2 野俣林道愛護会
朝日村内にある野俣林道の整備及び維持管理を、受益者が共同で行う。
- 3 長野県特用林産物振興会
まつたけ等の特用林産物の生産振興を図るため、講習会等を行う。
- 4 朝日地区林野警備連合会
朝日村内の市有林、財産区有林等において、火災予防等の巡視活動を共同で行う。
- 5 長野県造林協会
森林の健全な育成のため、上部団体である日本造林協会とともに、要望活動や研究会の開催等を行う。
- 6 中信地区水源林造林協議会
水源林造林事業の推進を図るため、要望活動等を行う。

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
<p>・上記団体の活動により、林業関連事業に関する国家予算の確保や、本市を含む受益団体において効率的な林道の管理や山林火災の予防等が図られているほか、単独の自治体では実施が困難な講習会の開催や、育樹祭やみどりの少年団活動などの啓発活動が実施されている。</p> <p>・いずれも林業振興を目的とする事業であり、2050ゼロカーボンに寄与する取り組みであることを踏まえ、他市町村及び関連団体と連携して事業を継続する。</p>		

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

基本施策名	4-4	森林の保全・再生・活用	市長公約	公約	4 防災・SDGs
5つの重点戦略	—		市長公約	主な取組み	○ 森林の保全と整備、山と繋がるライフスタイルの構築
予算要求区分	経常経費				

<指標の達成状況>

総合評価

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	1,979				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	1,979				
② 人件費(千円)	759	人工			
正規	759	0.1			
会計年度任用(ワカ16、ワカ17(1・2類))	0				
会計年度任用(ワカ17(3・4類))	0				
合計コスト①+②	2,738				

事務事業評価票

部局名 環境エネルギー部 課名 森林環境課

事務事業名	単独林道整備事業
-------	----------

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

基本施策名	4-4	森林の保全・再生・活用	市長公約	公約	4 防災・SDGs
5つの重点戦略		ゼロカーボン戦略	市長公約	主な取組み	○ 森林の保全と整備、山と繋がるライフスタイルの構築
予算要求区分		政策的経費			

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	単独林道整備事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H26 ~

森林施業の効率化と観光資源の有機的なネットワークを確立するため、林道奈川安曇線の整備を行うもの

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

1 実施内容及び活動実績

(1) 林道奈川安曇線B線舗装改修事業(単独)

ア 実施内容
林道奈川安曇線B線の舗装打替え工事

イ 活動実績
林道奈川安曇線B線 舗装改修工事 L=305m
(R2迄実績値 608m)

(2) 西部地区林道橋梁延命化事業(単独)

ア 実施内容
個別施設計画に基づく橋梁補修工事

イ 活動実績
橋梁補修工事 6橋

(3) 林道奈川安曇線トンネル延命化事業

ア 実施内容
老朽化している林道奈川安曇線B線の蛭窪トンネルの延命化工事

イ 活動実績
排水対策工事

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
<p>・林道奈川安曇線は、奈川地区から兼鞍高原、百骨温泉を結ぶ幹線林道であるが、落石や舗装面の傷みが多く施設も老朽化しているため、継続して整備を行う必要がある。</p> <p>・整備促進には財源確保が課題であり、令和元年度からのB線の舗装とトンネル空洞対策は、単独事業として過疎債を利用して整備を行っている。</p> <p>・林道の重要構造物については、計画的な点検診断・維持管理の実施が定められており引き続き定期点検を行っていく。</p>		

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	工事改良延長(m)(累計)				
指標の設定理由	整備延長により事業の進捗状況が把握できるため				
目標値	908	1,208	1,508	1,808	2,108
実績値	913				
達成度	100.6%				
② 成果指標(指標名)	維持管理橋梁数(橋)(累計)				
指標の設定理由	整備延長により事業の進捗状況が把握できるため				
目標値	6	11	16	23	27
実績値	6				
達成度	100.0%				

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	49,180				
国・県					
利用者負担金					
その他	49,100				
一般財源	80				
② 人件費(千円)	7,590	人工			
正規	7,590	1			
会計年度任用 (7月1日、10月1日、2月1日)	0				
会計年度任用 (10月1日、3月1日)	0				
合計コスト①+②	56,770				

事務事業評価票

部局名 環境エネルギー部 課名 森林環境課

事務事業名	県単林道事業
-------	--------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	県単林道事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H17 ~ R7

森林施業の効率化と観光資源の有機的なネットワークを確保するため、林道奈川安曇線B線の整備を行うもの

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

1 実施内容 林道奈川安曇線(B線)の改良・舗装工事を実施している。 延長 L=1,423m
2 活動実績 路肩改良工事 L= 37m (R2累計 L=1,163m)

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
・補助事業で対応できない路肩整備や舗装補修等を行っているが、県からの補助金額は定額である。 ・県では補助金の廃止も検討されており、今後の増額は望めないため、財源確保が課題		

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

基本施策名	4-4	森林の保全・再生・活用
5つの重点戦略	ゼロカーボン戦略	
予算要求区分	政策的経費	

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

市長公約	公約	4 防災・SDGs
主な取組み	○ 森林の保全と整備、山と繋がるライフスタイルの構築	

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	整備延長(m)(累計)				
指標の設定理由	整備延長により進捗状況が把握できるため				
目標値	1,263	1,303	1,343	1,383	1,423
実績値	1,200				
達成度	95.0%				
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	8,450				
国・県	4,610				
利用者負担金					
その他	3,800				
一般財源	40				
② 人件費(千円)	3,036	人工			
正規	3,036	0.4			
会計年度任用 (Ⅱ-17416、Ⅱ-17417・2類)	0				
会計年度任用 (Ⅱ-17416・3・4類)	0				
合計コスト①+②	11,486				

事務事業評価票

部局名 環境エネルギー部 課名 森林環境課

事務事業名	有害鳥獣対策事業
-------	----------

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>		<市長公約の位置付け、予算要求区分>	
基本施策名	4-4 森林の保全・再生・活用	市長公約	4 防災・SDGs
5つの重点戦略	—	主な取組み	○ 森林の保全と整備、山と繋がるライフスタイルの構築
予算要求区分	政策的経費		

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	農林業有害鳥獣対策事業費

<事業の狙い>

事業計画年度	H27~
--------	------

野生鳥獣の適正な個体数調整を行い、農林業及び人的被害の抑制を図るもの

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

1 実施内容

- 個体数調整、有害鳥獣管理
- 有害鳥獣の市街地及び集落への出没に伴う対応
- 猟友会への支援

2 活動実績

- 個体数調整、有害鳥獣管理
 - 指標のとおり
 - クマ捕獲許可申請、学習放獣の立会い
 - 野生鳥獣による農林業被害を減少させるための有害鳥獣の個体数調整
 - 集落等捕獲隊の設立 6隊273名
(四賀75名、入山辺106名、中山37名、稲核15名、大野川20名、上野20名)
- 有害鳥獣の市街地及び集落への出没に伴う対応
 - 通報によるクマ、サル、シカ等鳥獣被害現地調査及びパトロール
 - 通報によるサル等の追い払い
- 猟友会への支援
 - ワナ設置等に関する猟友会との調整
 - 猟友会員の免許更新に伴う証明書発行
 - 駆除従事者確保のための新規銃猟者に対する支援(R3新規銃猟者6名)

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
----------	---------	----

・防護柵の設置と捕獲の維持を図っているが、鳥獣による農林業被害は、減少傾向には至っていない。また、西部地区においてサルによる農作物被害やクマの出没による人的被害も発生している。
 ・市全域では鳥類と中小獣類による被害の相談が寄せられている。
 ・被害を抑制するため、今後も適正な個体数調整や猟友会への支援などを継続的に行う。

<指標の達成状況>

区分	総合評価		B				
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
① 成果指標(指標名)	獣類捕獲(頭)						
指標の設定理由	農林業被害に基づく有害鳥獣駆除実施計画を作成しているため						
目標値	2,400	2,600	2,600	2,600	2,600		
実績値	2,189						
達成度	91.2%						
② 成果指標(指標名)	鳥類捕獲(羽)						
指標の設定理由	農林業被害に基づく有害鳥獣駆除実施計画を作成しているため						
目標値	5,200	3,800	3,800	3,800	3,800		
実績値	3,620						
達成度	69.6%						

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	26,302				
国・県	8,316				
利用者負担金					
その他					
一般財源	17,986				
② 人件費(千円)	22,770	人工			
正規	15,180	2			
会計年度任用 (7月1日、10月1日、2月1日)	7,590	1			
会計年度任用 (10月1日、3月1日)	0				
合計コスト①+②	49,072				

事務事業評価票

部局名 環境エネルギー部 課名 森林環境課

事務事業名	松枯れ被害対策事業
-------	-----------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	松枯れ対策事業費

<事業の狙い>

事業計画年度 R3 ~

松枯れによる被害の拡大を遅らせ、里山の再生を図るもの

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

1 実施内容及び活動実績
(1) 松枯れ被害木の伐倒駆除 2,748本、5,029㎡
(2) 市道等生活道路沿線の危険木除去 31か所、1,027本、1,197㎡
(3) 薬剤空中散布代替策としての樹幹注入 4地区、20ha、立木2,713本
(4) 樹種転換等事業に対する林業事業者への補助 樹種転換、更新伐、植栽、下刈等 42.4ha
(5) 松枯れ被害拡大防止に向けた個人等への補助 樹幹注入補助 60件、被害木伐採 126件
(6) 森林内の被害状況調査 調査日数 60日
(7) 松くい虫被害感染木鑑定 検体調査本数 47本(うち20本からセンチウ検出)

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
広大な森林区域における松枯れ被害拡大を防ぐことは難しいが、被害先端地での伐倒駆除を行い被害拡大をなるべく遅らせるとともに、生活道路沿線での危険木処理、樹種転換事業による材の利活用に対策をシフトしていく。		

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

基本施策名	4-4	森林の保全・再生・活用
5つの重点戦略	ゼロカーボン戦略	
予算要求区分	政策的経費	

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

市長公約	公約	4 防災・SDGs
主な取組み	○ 森林の保全と整備、山と繋がるライフスタイルの構築	

<指標の達成状況>

区分	総合評価		A		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	松枯れ被害木の伐倒駆除材積(㎡)				
指標の設定理由	感染木の早期伐採が、感染拡大を遅らせることにつながるため				
目標値	5,000	6,000	6,000	6,000	6,000
実績値	5,029				
達成度	100.6%				
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	267,740				
国・県	115,710				
利用者負担金	0				
その他	0				
一般財源	152,030				
② 人件費(千円)	18,200	人工			
正規	15,180	2			
会計年度任用 (Ⅰ-174141-2類)	3020	1			
会計年度任用 (Ⅰ-174143-4類)	0				
合計コスト①+②	285,940				

事務事業評価票

部局名 環境エネルギー部 課名 森林環境課

事務事業名	カラマツ材販路拡大事業
-------	-------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	カラマツ材販路拡大事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

R3~R7

市内の民有林の主要樹種であるカラマツが伐期を迎えているが、主な用途は合板材料となっている。このカラマツ材の建築主要部材等への用途を拡大し、有用な地域資源として、地域の林業振興を図るもの
また「伐って」「使って」「植えて」「育てる」の適正な森林の循環(資源の循環利用)を確立するため、森林整備を進めるもの

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

1 実施内容

- カラマツ材住宅補助金制度(H30~ 拡充R3~)
住宅建築へのカラマツ利用を促進するため、県産カラマツ材を使用した木造住宅の新築、リフォームに対し補助金を交付するものでR3年度から補助要件の見直しを行い、補助額を拡充した。財源は森林環境譲与税を充当する。(R3年度 9件 1,200千円)
- 市有林カラマツの主伐
松本市産カラマツの供給増、適正な森林の循環(資源の循環利用)の確立、またゼロカーボンに向けた取り組みとして、未利用材の木質バイオマスへの活用などを目的に、R3年度から市有林の主伐の実証検証を実施している。

2 活動実績

- カラマツ材住宅補助金制度
 - 1 ~ 5㎡未満 100千円/1件 (6件)
 - 5 ~ 10㎡未満 200千円/1件 (3件)
 - 10㎡以上 300千円/1件 (0件)
- 市有林カラマツの主伐
R3年度事業実績 主伐、地拵え 1.48ha

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
・カラマツ材住宅補助金については、利用促進を図るための市民への周知、工務店への内容説明を積極的に行う。 ・主伐事業を広く周知することにより、私有林所有者へ適正な森林の循環が行われるよう促す。		

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

基本施策名	4-4	森林の保全・再生・活用
5つの重点戦略	ゼロカーボン戦略	
予算要求区分	経常経費・政策的経費	

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

市長公約	公約	4 防災・SDGs
主な取組み	○ 森林の保全と整備、山と繋がるライフスタイルの構築	

<指標の達成状況>

		総合評価		A		
区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	カラマツ材住宅補助金による使用量の3か年平均 (㎡)					
	指標の設定理由	市民に直接補助金を支給する事業であり、カラマツ材の使用量が把握できるため。				
	目標値	32	34	36	38	40
	実績値	33				
	達成度	103.1%				
② 成果指標(指標名)	市有林の主伐面積 (ha)					
	指標の設定理由	主伐の進捗状況が把握できるため				
	目標値	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
	実績値	1.48				
	達成度	74.0%				

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	6,073				
	国・県				
	利用者負担金				
	その他	4,139			
	一般財源	1,934			
② 人件費(千円)	2,122	人工			
	正規	1,518	0.2		
	会計年度任用 (Ⅱ-19141・2類)	604	0.2		
	会計年度任用 (Ⅱ-19143・4類)	0			
合計コスト①+②	8,195				

事務事業評価票

部局名 環境エネルギー部 課名 森林環境課

事務事業名	森林経営管理制度推進事業
-------	--------------

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

基本施策名	4-4	森林の保全・再生・活用	市長公約	公約	4 防災・SDGs
5つの重点戦略		ゼロカーボン戦略	市長公約	主な取組み	○ 森林の保全と整備、山と繋がるライフスタイルの構築
予算要求区分		経常経費・政策的経費			

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	森林経営管理制度推進事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

R1~

森林経営管理法に基づき、適切な経営管理が行われていない私有林人工林について、国の森林環境譲与税を活用し、所有者から委託を受けて市が管理を行う「森林経営管理制度」によって森林整備の推進を図るもの

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

1 実施内容
(1) 森林経営管理制度
ア 市は所有者を確認、経営管理が行われていない森林、経営に適している森林などの選定をし、意向調査を実施する。
イ 森林所有者自らが森林の経営管理を実行できない場合に、市が森林経営管理の委託を受ける。
ウ 森林経営に適した森林は、意欲と能力のある林業経営者に再委託する。
エ 再委託できない森林及び再委託に至るまでの間の森林については、市が管理を実施する。
(2) 意向調査の実施
ア 令和2年度から、森林所有者に対する意向調査を実施
イ 対象面積:約4,400ha
ウ 対象所有者数:約5,900者 (意向調査実施地区 R2 1地区 R3 1地区)
2 活動実績
(1) 意向調査を実施する森林所有者の選定と確認
(2) 経営に適している森林選定のための基礎資料となる森林プランニングマップ作製

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
森林所有者の森林経営に対する意向調査は、相続や不在地主の問題等もあるが、森林環境譲与税を活用しながら、計画的に継続して実施していく。		

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	意向調査実施地区数(累計)				
指標の設定理由	本事業の推進には所有者の意向調査が必要であり、その進捗状況が把握できるため				
目標値	2	2	3	3	4
実績値	2				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	8,613				
国・県					
利用者負担金					
その他	8,613				
一般財源	0				
② 人件費(千円)	4,546	人工			
正規	3,036	0.4			
会計年度任用 (Ⅱ-17416、Ⅱ-17417・2類)	1,510	0.5			
会計年度任用 (Ⅱ-174163・4類)	0				
合計コスト①+②	13,159				

環境業務課

課長 原文彦

事務事業評価票

部局名 環境エネルギー部 課名 環境業務課

事務事業名	清掃業務管理
-------	--------

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

基本施策名	4-2	3R徹底による環境負荷軽減	市長公約	公約	—
5つの重点戦略		—	市長公約	主な取組み	—
予算要求区分		経常経費			

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	清掃業務管理

<事業の狙い>

事業計画年度

～

循環型社会の構築を目指し、ごみを5分別25区分に分別して資源化を推進しているため、市民がごみ・資源物を適正に排出できるよう、周知・啓発を行うもの

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

1 実施内容
ごみ・資源物が適正に排出されるよう、市民へ「ごみ・資源物の分け方・出し方」及び「ごみ・資源物の収集日程表」を配布するとともに、ごみ分別アプリ「さんあ～る」の配信を行い、周知・啓発を行う。
2 活動実績
(1) 「ごみ・資源物の分け方・出し方」及び「ごみ・資源物の収集日程表」
ア 収集地区
市内35地区を45区域に分けて収集を実施
イ 分別区分
5分別25区分
ウ 印刷部数
(ア) ごみ・資源物の分け方・出し方: 110,000枚
(イ) ごみ・資源物の収集日程表: 125,000枚
(2) ごみ分別アプリ「さんあ～る」の配信
ア 登録件数 23,022件
イ 対応する外国語 英語、中国語、韓国語、フィリピン語、スペイン語、ポルトガル語、タイ語、ベトナム語

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
「ごみ・資源物の収集日程表」及び「ごみの分け方・出し方」は、町会より町会加入者へ配布されるが、町会未加入者や外国人の方への情報提供が課題となっている。対応として各地区地域づくりセンターでも配布できるよう準備し、地域づくり課、人権共生課と連携し、町会加入促進に勤める。 ・ごみ分別アプリ「さんあ～る」により、ごみ分別等の情報を配信(毎月300件増) ・アプリは8カ国語に対応しており、課題となっている外国人の方へごみ処理に関する様々な情報を積極的に配信し、ごみの減量・適正処理につなげていく。		

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	ごみの総排出量(t)				
指標の設定理由	ごみの分別をすることにより排出量が抑えられるため				
目標値	82,892	81,177	79,693	77,784	76,105
実績値	85,549				
達成度	96.9%				
② 成果指標(指標名)	1人1日当たりのごみ排出量(g)				
指標の設定理由	ごみの分別をすることにより排出量が抑えられるため				
目標値	964	948	932	916	900
実績値	988				
達成度	97.6%				

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	585,566				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	585,566				
② 人件費(千円)	22,909	人工			
正規	20,493	2.7			
会計年度任用(7月1日、10月1日、2月1日)	2,416	0.8			
会計年度任用(1月1日、4月1日、7月1日)	0	0			
合計コスト①+②	28,679				

事務事業評価票

部局名 環境エネルギー部 課名 環境業務課

事務事業名	塵芥収集業務
-------	--------

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

基本施策名	4-2	3R徹底による環境負荷軽減	市長公約	公約	—
5つの重点戦略		—	市長公約	主な取組み	—
予算要求区分		経常経費			

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	塵芥収集業務

<事業の狙い>

事業計画年度

市民の快適な生活環境を維持するため、一般廃棄物(家庭系ごみ)の収集を行うとともに、町会で管理するごみステーションの建設に対して補助をおこなうもの

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

1 可燃・不燃ごみ等の収集運搬
(1) 収集業務割合
委託:92%、直営:8%
(2) 収集対象
ア 可燃ごみ
イ 容器包装プラスチック
ウ 不燃ごみ(破碎・埋立ごみ)
エ 蛍光管・乾電池
オ 小型家電
カ スプレー缶・ライター
(3) 区分別に収集するごみステーション数
ア 可燃ごみ 2,625カ所(+1)
イ 容器包装プラスチック 1,803カ所(+2)
ウ 不燃ごみ(破碎・埋立ごみ) 1,790カ所(+2)
エ 資源物 1,168カ所(+3)
2 ごみステーション建設費補助
補助件数 17件、補助金額 3,429千円

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
・家庭系ごみの排出量は、年々減少傾向にある。 ・引き続きごみの排出環境の整備・適正処理に努めるとともに、ごみの減量に関する施策をあわせて実施する。		

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	家庭系ごみ収集量(t)				
指標の設定理由	市が収集する家庭系ごみ量が把握できるため				
目標値	37,885	37,549	37,317	36,883	36,552
実績値	37,546				
達成度	100.9%				
② 成果指標(指標名)	1人1日あたりの家庭家ごみ排出量(g)				
指標の設定理由	他の自治体の状況との比較が容易であるため				
目標値	441	438	436	434	432
実績値	433				
達成度	101.8%				

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	326,188				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	326,188				
② 人件費(千円)	98,622	人工			
正規	89,562	11.8			
会計年度任用(7月1日、11月1日)	9,060	3			
会計年度任用(11月1日)	0	0			
合計コスト①+②	424,810				

事務事業評価票

部局名 環境エネルギー部 課名 環境業務課

事務事業名	ごみ処理関連施設周辺整備対策事業
-------	------------------

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

基本施策名	4-2	3R徹底による環境負荷軽減	市長公約	公約	—
5つの重点戦略		—	市長公約	主な取組み	—
予算要求区分		政策的経費			

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	ごみ処理関連施設周辺整備対策事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

迷惑施設である廃棄物処理施設の受け入れに対して周辺住民に理解し、協力してもらうため、施設周辺の環境整備等を実施するもの

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

1 実施内容	ごみ処理関連施設(エコトピア山田、松本クリーンセンター)周辺の環境整備を行うとともに、事業に関連する他の市施設の保守点検・改修等の維持管理を行う。
2 活動実績	<ul style="list-style-type: none"> (1) 施設整備事業 <ul style="list-style-type: none"> ア エコトピア山田周辺環境整備 <ul style="list-style-type: none"> (ア) エコトピア山田西側斜面植栽工事 (イ) 桜街道関連工事(雑木伐採、路肩整備) イ 松本クリーンセンター周辺環境整備 <ul style="list-style-type: none"> 水路沿い支障木伐採工事 (2) 周辺環境整備支援事業 <ul style="list-style-type: none"> 最終処分場周辺住民が行う環境保全、環境整備などの活動に対する支援 (3) 公民館等維持管理 <ul style="list-style-type: none"> ア 平瀬川西公民館外壁軒天塗装工事 イ 平瀬川西公民館ごみステーション前段差解消工事

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
・迷惑施設である廃棄物処理施設の受け入れに対して理解してもらうために、今後も事業を継続して行っていく必要がある。		

<指標の達成状況>

総合評価

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	10,261				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	10,261				
② 人件費(千円)	7,590	人工			
正規	7,590	1			
会計年度任用(ワカ16、ワカ17(1・2類))	0	0			
会計年度任用(ワカ17(3・4類))	0	0			
合計コスト①+②	17,851				

事務事業評価票

部局名 環境エネルギー部 課名 環境業務課

事務事業名	塵芥埋立処理
-------	--------

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

基本施策名	4-2	3R徹底による環境負荷軽減	市長公約	公約	—
5つの重点戦略		—	市長公約	主な取組み	—
予算要求区分		経常経費			

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	塵芥埋立処理費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

一般廃棄物の安定的な処理を行うとともに、周辺の環境負荷の軽減を図るもの

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

1 実施内容	一般廃棄物最終処分場の適正な管理運営を行う。
2 活動実績	<ul style="list-style-type: none"> (1) 施設維持管理業務 <ul style="list-style-type: none"> ア 浸出液処理施設維持管理 イ 消防設備等保守点検 ウ 除草作業 エ 機器等の補修 (2) 環境調査 <ul style="list-style-type: none"> ア 放流水等水質検査 イ ダイオキシン類調査 ウ ガス抜き管発生ガス成分検査 エ 臭気測定

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
<p>・エコトピア山田は、令和3年度から行う再整備により現処分場は埋立終了となるが、浸出水などの管理は引き続き適正に行っていく必要がある。</p> <p>・安曇及び奈川一般廃棄物最終処分場については、引き続き適正な管理を行う。</p>		

<指標の達成状況>

総合評価

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	48,692				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	48,692				
② 人件費(千円)	24,288	人工			
正規	24,288	3.2			
会計年度任用(ワ・ウ・エ、バ・ト・チ(1・2類))	0	0			
会計年度任用(バ・ト・チ(3・4類))	0	0			
合計コスト①+②	72,980				

事務事業評価票

部局名 環境エネルギー部 課名 環境業務課

事務事業名	し尿処理業務
-------	--------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	し尿処理業務費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

水洗化ができない地域にある市営施設等の環境を維持するため、し尿の収集運搬を行うもの

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

- 実施内容
主に運動公園等の外便所や文化財発掘現場など、水洗化されていない市管理施設等のし尿収集を実施する。
- 活動実績
汲取り実施回数 37回
汲取り実施箇所 11か所
回収量 16,555ℓ

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
・水洗化できない市管理施設等に対応するため、バキューム車を保有し、汲取りを実施していく必要がある。		

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

基本施策名	4-3	自然・生活環境の保全
5つの重点戦略	—	
予算要求区分	経常経費	

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

市長公約	公約	—
市長公約	主な取組み	—

<指標の達成状況>

総合評価

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	48				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	48				
② 人件費(千円)	1,518	人工			
正規	1,518	0.2			
会計年度任用 (Ⅶ-17416、Ⅶ-17417・2類)	0	0			
会計年度任用 (Ⅶ-17416・3・4類)	0	0			
合計コスト①+②	1,566				

事務事業評価票

部局名 環境エネルギー部 課名 環境業務課

事務事業名	エコトピア山田再整備事業
-------	--------------

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

基本施策名	4-2	3R徹底による環境負荷軽減	市長公約	公約	—
5つの重点戦略	—		市長公約	主な取組み	—
予算要求区分	政策的経費				

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	エコトピア山田再整備事業費

<事業の狙い>

事業計画年度 R元 ~ R8

・エコトピア山田の今後の長期使用に向けて、より安全な施設とするため、現在の埋立地を再整備し、一般廃棄物の安定的な処理を行うもの
 ・また、現在、エコトピア山田で処理・処分している一般廃棄物については、再整備期間中は民間業者に全量委託を行い、引き続き安定的な処理を行う。

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

1 実施内容
(1) エコトピア山田再整備事業 現在の埋立廃棄物を片寄せして造成後、いったん埋立終了とし、施設を廃止。廃止手続き完了後に新処分場を整備する。
(2) エコトピア山田再整備事業に伴う一般廃棄物処理事業 焼却灰・飛灰、埋立ごみなどの処理を民間事業者へ委託し、可能なものは、資源化を行うなど、適正な処理・処分を行う。
2 活動実績
(1) エコトピア山田再整備事業 ア 生活環境影響調査を実施(令和2年度から令和6年度まで) イ 既存廃棄物片寄せ工事着手(令和4年度まで) ウ 外周水路付替え工事竣工(令和2年度から令和3年度まで)
(2) エコトピア山田再整備事業に伴う一般廃棄物処理事業 ア 焼却灰・飛灰 10,337トン(10社) (ア) 資源化 8,456トン(8社) 焼成(埼玉県、三重県)、溶融(愛知県、茨城県、栃木県)、セメント原料化(新潟県(2社)、福岡県) (イ) 委託埋立 1,881トン(三重県、秋田県) イ 埋立ごみ 733トン(三重県)

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
・市として一般廃棄物の安定的な処理を行うため、着実に施設の再整備を行う必要がある。また、工事は周辺環境及び安全に配慮して実施する。 ・再整備事業に対する施設周辺住民の理解を得るために、地区で課題となっている地域の活性化に、市として取り組む必要がある。 ・令和3年度以降の再整備期間中は、市内において埋立処分が行えないことから、当該処分場で処理している一般廃棄物全量を民間事業者で適正に処理する必要がある。		

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	灰処分委託量(t)				
指標の設定理由	一般廃棄物の安定的な処理実績を示すため				
目標値	10,800	10,800	10,800	10,800	10,800
実績値	10,337				
達成度	95.7%				
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	650,363				
国・県	390				
利用者負担金					
その他	128,200				
一般財源	521,773				
② 人件費(千円)	19,579	人工			
正規	18,975	2.5			
会計年度任用(ウ・ク・カ、Ⅱ-1ウ・カ1・2類)	604	0.2			
会計年度任用(Ⅱ-1ウ・カ3・4類)	0	0			
合計コスト①+②	669,942				

事務事業評価票

部局名 環境エネルギー部 課名 環境業務課

事務事業名	ごみ減量対策事業
-------	----------

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

基本施策名	4-2	3R徹底による環境負荷軽減	市長公約	公約	—
5つの重点戦略		ゼロカーボン戦略	市長公約	主な取組み	—
予算要求区分		経常経費・政策的経費			

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	ごみ減量対策事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

松本市一般廃棄物処理計画に基づき、ごみの排出実態を把握し、廃棄物の発生抑制、再使用、再資源化及び適正処理の推進を図るもの

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

- 実施内容
 - ごみの組成調査に基づく適正処理の効果的な啓発、資源ごみの円滑な回収により、ごみの減量及び再資源化の推進
- 活動実績
 - 家庭系・事業系可燃ごみの組成及び食品ロス調査の実施
 - 事業系ごみの減量の推進
 - ア 事業所への立入検査及び廃棄物の適正排出指導(78社)
 - イ 「事業系ごみの分け方・出し方」の配布(配布部数:404部)
 - 資源物の収集運搬に係る事務
 - 品目: 金属類、紙類、布類、びん類、ペットボトル、小型家電、廃食用油
 - 資源物の排出環境の整備
 - ア 松本市リサイクルセンターの運営
 - イ 紙類常設回収場所の設置(32か所)
 - ウ 資源物集団回収実施団体への助成(回収量:1,159トン)
 - エ 有価資源物リサイクル事業を実施した町会への助成(回収量:3,676トン)
 - 生ごみ等の再資源化の推進
 - ア ごみ減量機器購入補助(211件)
 - イ 生ごみ堆肥化講習会の開催(5回)
 - 生ごみの水切り袋の作成・配布
 - 出前講座、リサイクルセンター視察等にて配布(配布枚数:500枚)

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
・民間事業者による資源物回収ボックスの設置が多くなり、市として回収する資源物量が減少してきている。また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、集団回収量も減少している。 ・市が行う資源物のステーション回収を安定的に実施するためには、町会の協力が不可欠である。今後も協力を得るためには、町会への助成に直結する町会ステーション回収量を維持する必要がある。		

<指標の達成状況>

区分	総合評価		B		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	ごみの総排出量(t)				
指標の設定理由	ごみの減量を目的とした事業であるため				
目標値	82,892	81,177	79,693	77,784	76,105
実績値	85,549				
達成度	103.2%				
② 成果指標(指標名)	リサイクル率(%)				
指標の設定理由	資源物の収集量の指標となるもの				
目標値	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0
実績値	9.7				
達成度	80.8%				

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	207,476				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	207,476				
② 人件費(千円)	37,632	人工			
正規	34,914	4.6			
会計年度任用(別府16、別府24(1・2類))	2,718	0.9			
会計年度任用(別府17(1・2類))	0	0			
合計コスト①+②	245,108				

事務事業評価票

部局名 環境エネルギー部 課名 環境業務課

事務事業名	環境衛生指導
-------	--------

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

基本施策名	4-3	自然・生活環境の保全	市長公約	公約	—
5つの重点戦略		—	市長公約	主な取組み	—
予算要求区分		経常経費			

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	環境衛生指導費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

市民の快適な生活環境を維持するため、市民の環境美化意識の高揚を図り、環境の美化に努めるもの

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

1 実施内容	「松本市ポイ捨て防止等及び環境美化に関する条例」や環境衛生協議会を通じて、ポイ捨て防止活動や環境美化活動を推進する。不法投棄を防止するため看板及びフェンスの設置を行うとともに、不法投棄パトロール及び不法投棄物の回収を行う。
2 活動実績	<ul style="list-style-type: none"> (1) 令和3年度環境美化巡視委員数 498名 (2) 啓発運動 <ul style="list-style-type: none"> ア ごみゼロ運動 5月30日、参加者 113名 イ 散乱空き缶等追放キャンペーン 10月31日、参加者:151名 ウ 啓発運動でのごみ処理量 420kg (3) 不法投棄パトロール数 167回 (4) 不法投棄回収量 6.209t

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
・不法投棄の処理量は、前年と比べて可燃ごみ・不燃ごみは33.3%、家電4品目は61.2%減少していますが、引き続き河川敷等を中心にパトロールを強化し、町会と連携して「不法投棄防止フェンス」「不法投棄禁止看板」の設置を行っていく。		

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	不法投棄回収量(t)				
指標の設定理由	不法投棄の減量を目的とした事業であるため				
目標値	9	9	8	8	7
実績値	6				
達成度	150.0%				
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	53,515				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	53,515				
② 人件費(千円)	88,298	人工			
正規	78,936	10.4			
会計年度任用(ワカ16、ワカ17(1・2類))	9,362	3.1			
会計年度任用(ワカ17(3・4類))	0	0			
合計コスト①+②	142,978				

廃棄物対策課

課長 宮野尾 修三

課長 花村 由美

事務事業評価票

【部局名】環境エネルギー部 【課名】 廃棄物対策課

事務事業名	廃棄物対策事業(監視指導)
-------	---------------

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>		<市長公約の位置付け、予算要求区分>	
基本施策名	4-3 自然・生活環境の保全	市長公約	公約
5つの重点戦略	—	主な取組み	—
予算要求区分	経常経費		

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	廃棄物対策事業費

<事業の狙い>

事業計画年度	～
--------	---

許可業者に対し、計画的な立入検査を実施することで、不適正処理を未然に防止するもの

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

1 実施内容	廃棄物関係立入検査実施計画書を元に立入検査を実施するもの
2 活動実績	<p>(1) 松本市で許可をしている廃棄物処理業者に対して、申請どおりの処理等を実施しているか、また、保管基準等を遵守しているか確認し、指摘すべき事項がある場合は、指導する。</p> <p>(2) PCB廃棄物の処理については、高濃度安定器の処理期限が令和5年3月末であるため、委託調査と並行して、職員でPCBの有無の確認、処理の促進を行う。</p> <p>(3) 令和3年に中核市に移行したため、県の立入検査実施計画を参考に計画し、実施したが、今後、松本市として、より市民の生活環境の保全が保てるよう計画し、実施する。</p>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
<p>・中核市に移行したことで移譲された事務であるため、県と合同で指導を実施する等、対応が必要な事案が多々ある。</p> <p>・今後は、県から協力を受けつつ、松本市民の生活環境の保全上支障が生じないような指導を実施する。</p>		

<指標の達成状況>

	総合評価	A			
区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	計画的な立入検査				
指標の設定理由	通報等による立入検査は目標を設定するものでないため、計画的な立入のみとする				
目標値	239	237	237	237	237
実績値	380				
達成度	159.0%				
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	0				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源					
② 人件費(千円)	30,360	人工			
正規	30,360	4			
会計年度任用(70914、11-70914(1・2類))	0				
会計年度任用(11-70914(3・4類))	0				
合計コスト①+②	30,360				

事務事業評価票

【部局名】環境エネルギー部 【課名】 廃棄物対策課

事務事業名	廃棄物対策事業(許認可)
-------	--------------

＜第11次基本計画の位置付け・重点戦略＞		＜市長公約の位置付け、予算要求区分＞	
基本施策名	4-3 自然・生活環境の保全	市長公約	公約
5つの重点戦略	—	主な取組み	—
予算要求区分	経常経費		

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	廃棄物対策事業

＜事業の狙い＞

事業計画年度	R3～
--------	-----

廃棄物処理業等に係る周辺地域の生活環境を保全するため、廃棄物処理業等に係る申請について、各種基準への適否を審査するもの

＜事業の実施内容及び活動実績(実績値)＞

1 実施内容
 廃棄物に係る各種申請等について、標準処理期間内に審査を行う。
 (1) 一般廃棄物処理施設
 (2) 一般廃棄物収集運搬業及び処分業
 (3) 産業廃棄物処理施設
 (4) (特別管理)産業廃棄物収集運搬業及び処分業
 (5) 使用済自動車の再資源化等に関する法律に基づく解体業及び破砕業

2 活動実績
 (1) 一般廃棄物処理施設審査 0件
 (2) 一般廃棄物収集運搬業審査 34件
 (3) 一般廃棄物処分業審査 1件
 (4) 産業廃棄物処理施設審査 3件
 (5) 産業廃棄物収集運搬業審査 8件
 (6) 産業廃棄物処分業審査 3件
 (7) 特別管理産業廃棄物収集運搬業審査 1件
 (8) 特別管理産業廃棄物処分業審査 2件
 (9) 使用済自動車の再資源化等に関する法律に係る審査 0件

＜現状に対する認識と今後の方向性＞

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
中核市に移行したことで移譲された事務であるため、県及び長野市と確認、調整を行い、事業者が中核市に移行したことで混乱が起きないように対応する。		

＜指標の達成状況＞

区分	総合評価				
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	0				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源					
② 人件費(千円)	30,360	人工			
正規	30,360	4			
※ 会計年度任用(07914、81-19141・2類)	0				
※ 会計年度任用(81-19143・4類)	0				
合計コスト①+②	30,360				